

津市立修成小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事

設 計 図

図面リスト					
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	<機械>				<電気>
M-01	機械設備工事特記仕様書 1	M-14	3階平面詳細図2 空調設備	E-01	電気設備工事特記仕様書 1
M-02	機械設備工事特記仕様書 2	M-15	1階平面図 空調制御設備	E-02	電気設備工事特記仕様書 2
M-03	配置図・附近見取図・標準仕様図 空調設備	M-16	機械スパース回り詳細図 空調設備	E-03	電気設備工事特記仕様書 3
M-04	空調機器表	M-17	屋上既設撤去図	E-04	配置図
M-05	系統図 空調設備	M-18	搬入経路図	E-05	受変電設備 分電盤結線図
M-06	1階平面図 空調設備	M-19	1階平面図	E-06	空調電源設備 1階平面図
M-07	2階平面図 空調設備	M-20	2階平面図	E-07	空調電源設備 2階平面図
M-08	3階平面図 空調設備	M-21	3階平面図	E-08	空調電源設備 3階平面図
M-09	1・2・3階平面詳細図 空調設備	M-22	建具表		
M-10	1階平面詳細図1、2 空調設備	M-23	機械スパース回り詳細図O 1		
M-11	2階平面詳細図1 空調設備	M-24	機械スパース回り詳細図O 2		
M-12	2階平面詳細図2 空調設備	M-25	機械スパース回り詳細図O 3		
M-13	3階平面詳細図1 空調設備	M-26	断面詳細図		

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社

機械設備工事特記仕様書				工事項目			
1 工事名	津市立修成小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事	(11) 発生事の処理等	□建築工事に準じる	(23) その他	□ 未使用機械	9 (1) 配管材料	部分的に配管の種類を変更する場合は、図面内に明記すること。
2 工事場所	津市 修成町 地内	1) 引渡しを要するもの () 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。	□ 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。	□ 索定機器の校正記録	□ 水道用硬質塗化ビニールライニング鋼管 JWWA K116 (一般: SGP-VP 地中: SGP-VD)		
3 建築概要	消施令の適用	2) 特別管理産業廃棄物 () 処理方法 ()	□ 工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。	3) 現場において再利用を図るもの () □ 口吹生土、口吹の木 ()	3) 漏定に先立ち使用する測定機器の検査証 () 又は校正記録 () を監督員に提出すること。	□ フランジ付硬質塗化ビニールライニング鋼管 WSP 011 (一般: SGP-FVA, FVB 地中: SGP-FVD)	
4 適用基準	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による 国土交通省大臣官房工事監修部監修 「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成28年版」 「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）平成28年版」 「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）平成28年版」 「建築、電気、機械設備工事監修指針平成28年版」 独立行政法人 建築研究監修 「建築設備震設計・施工指針2014年版」 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、 ■印のついたものと適用する。	4) 再資源化を図るもの () □ コンクリート塊 □ アスファルトコンクリート塊 □ 建設生木 ()	4) 提示すること。	4) フローリング及び充填	※ 細き手はアスベストとすると、 給水管100mはねじ又はフランジ接合、125m以上はフランジ接合(工場施工)とする。		
		5) 発注者へ引き渡しの際においては「現場発生品調査書」を提出すること、また再利用を図るものについても調査を作成し、監督員へ提出すること。	5) 漏定に先立ち使用する測定機器の検査証 () 又は校正記録 () を監督員に提出すること。	5) 当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。	□ 水道用硬質ボリューム化ビニール管 JIS K 6742 (一般: 地中, HVIP)		
		6) 利用を要しないもの、全て屋外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切処理し、監督員に報告すること。(■印のB2, D3を表示すること。)	6) 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、 ■印のついたものと適用する。	6) フローリング及び充填	□ 水道配用ホリューム化ビニール管 JIS K 144 (地中: PE) □ 水道用テクスレス鋼管 JIS G 3446 □ 一般配用ステンレス鋼管 JIS G 3448		
		7) 電気保安技術者	□ 適用する ■ 適用しない	7) フローリング及び充填	※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL, FL面より+100立ち上げた所までとする。		
		8) 一般事項	□ 適用する ■ 適用しない	8) フローリング及び充填			
		9) 施工の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各通用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図面に定めた内容、現場の納まり・取り合いの不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記又は記載漏れ等に起因する問題点及び疑問、設計図書をより施工することで得られない場合に発生するうることを、その都度、監督員と協議すること。なお設計図とおりの施工であっても上記の不具合が発生した場合は協議の上、改修工事を実施すること。 工事による取り合いについては予め当該工事監修者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により直ちに施工を行うこと。	9) 施工の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各通用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図面に定めた内容、現場の納まり・取り合いの不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記又は記載漏れ等に起因する問題点及び疑問、設計図書をより施工することで得られない場合に発生するうることを、その都度、監督員と協議すること。なお設計図とおりの施工であっても上記の不具合が発生した場合は協議の上、改修工事を実施すること。 工事による取り合いについては予め当該工事監修者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により直ちに施工を行うこと。	9) 施工の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各通用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図面に定めた内容、現場の納まり・取り合いの不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記又は記載漏れ等に起因する問題点及び疑問、設計図書をより施工することで得られない場合に発生するうることを、その都度、監督員と協議すること。なお設計図とおりの施工であっても上記の不具合が発生した場合は協議の上、改修工事を実施すること。 工事による取り合いについては予め当該工事監修者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により直ちに施工を行うこと。			
		10) 提出書類	□ 建築工事に準じる	10) 提出書類	□ 建築工事に準じる		
		1) 工事書類 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	1) 施工可否日 () 一部(1)、日曜日、祝祭日施工あり □ 指定なし	1) 施工可否日 () 一部(1)、日曜日、祝祭日施工あり □ 指定なし		
		2) 工事完成書 :	・品質確認書類 ・工事日報 ・工事写真 ・竣工図 (日本規格2部、A3見開き2部) ・機器完成図 (ファイル等) ・保守に関する説明書 (取扱説明書・保証書) 2部 ・機器性能試験成績書 1部 ・総合調整測定表 (試験結果・測定結果等) 1部 ・官署届出書類控、検査証明書 1部 ・出荷品確認書類 1部 等	2) 施工可能時間帯 ■ 指定なし □ 指定あり (時 ~ 時)	2) 施工可能時間帯 ■ 指定なし □ 指定あり (時 ~ 時)		
		3) 施工成形規格 :	・品質確認書類 ・工事日報 ・工事写真 ・竣工図 (日本規格2部、A3見開き2部)	3) 施工成形規格 :	・品質確認書類 ・工事日報 ・工事写真 ・竣工図 (日本規格2部、A3見開き2部)		
		4) 施工方法 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	4) 施工方法 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		5) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	5) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		6) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	6) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		7) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	7) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		8) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	8) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		9) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	9) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		10) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	10) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		11) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	11) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		12) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	12) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		13) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	13) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		14) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	14) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		15) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	15) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		16) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	16) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		17) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	17) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		18) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	18) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		19) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	19) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		20) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	20) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		21) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	21) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		22) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	22) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		23) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	23) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		24) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	24) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		25) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	25) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		26) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	26) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		27) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	27) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		28) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	28) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		29) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	29) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		30) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	30) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		31) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	31) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		32) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	32) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		33) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	33) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		34) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	34) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		35) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	35) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		36) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	36) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		37) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	37) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		38) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	38) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		39) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	39) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		40) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	40) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		41) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等	41) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図 ・工程表 ・施工図等		
		42) 施工監修 :	・施工計画書 ・機器使用履歴 ・機器明細図				

※ 横走り管の吊り間隔						
鋼管	100A以下 125A以上	— —	2m 以下 3m 以下			
ビニル管	80A以下 100A以上	— —	1m 以下 2m 以下			
耐火二層管						
鋼管						
鉛管			1.5m 以下			
錫鉄管			標準図による			
※ 横走り管の吊り間隔						
支持間隔	6m 以下	8m 以下	12m 以下			
鋼管	—	50A~100A	125A~			
錫鉄管						
ビニル管	25A~40A	50A~100A	125A~			
耐火二層管						
鋼管						
※ 冷却用鋼管の横走り管の支持間隔						
基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔	1.5m 以下					
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔	2.0m 以下					
形状	基準外径を基準とする。					
(2) ダクト工事						
矩形ダクト	<input checked="" type="checkbox"/> 亜鉛钢板 JIS G 3302 (SGCC、SGCC) 錫金付着Z18以上 <input type="checkbox"/> ステンレス鋼板 JIS G4305 <input type="checkbox"/> アングルラジング法 <input type="checkbox"/> 共管フランジ工法 <input type="checkbox"/> スライドオンフランジ工法 <input type="checkbox"/> 山形鋼 JIS G 3101 <input type="checkbox"/> スパイラルダクト <input type="checkbox"/> 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多層管) AS-62 (RS-VU)					
工法						
形鋼補強						
丸ダクト						
(3) 保溫塗装工事						
1) 材料						
<input type="checkbox"/> グラスクール保溫材	保溫筒 JIS A 9504 2号 40K (屋内・屋外等)					
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 温水管					
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水管 <input type="checkbox"/> 冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷媒管					
<input type="checkbox"/> 冷湯管	<input type="checkbox"/> 温水管 <input type="checkbox"/> 蒸気管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管					
<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/> ロックワール保溫材 (防火区分貫通部等)	保溫板、保溫帶、ブランケット 1号 JIS A 9504					
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 温水管					
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷媒管 <input type="checkbox"/> 消火管					
<input type="checkbox"/> ポリスチレンフォーム保溫材	保溫筒 JIS A 9511 3号 (屋内・屋外等)					
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管 <input type="checkbox"/> 冷水管 (2~4°C)					
<input type="checkbox"/> ブライン管	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 給湯管 <input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管					
<input type="checkbox"/> ブライン管	<input type="checkbox"/> 消火管 <input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/> 調合ペイント塗り漆料	JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種 (露出)					
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管 <input type="checkbox"/> 通気管 <input type="checkbox"/> ドレン管					
<input type="checkbox"/> ガス管	<input type="checkbox"/> 消火管 <input type="checkbox"/> 油管 <input type="checkbox"/> 冷却水管					
2) 保溫厚						
グラスクール、ロックワール						
保溫厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	—	200A~	—	—
膨張・温水・温水管	—	—	—	—	—	—
蒸気管	~25A	—	32~50A	65A~	—	—
冷水・冷温水・冷媒管	—	—	~25A	32~200A	125A~	250A~
ポリスチレンフォーム						
保溫厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	—	—	—	—
冷水・冷温水管	—	—	~25A	32~200A	250A~	—
冷水 (冷水温度2~4°C)	—	—	~20A	25A~100A	125A~	—
ブライン管	—	—	—	~25A	32~80A	100A~
機器ダクト保溫厚						
保溫厚						
25mm	ダクト (屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、暗藏部)、消音チャンバー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト暗藏部 (ロックワール)					
50mm	ダクト (屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンバー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排煙筋隔壁部 (ロックワール)					
75mm	煙導 (ロックワール)					

3) 種別 給排水風管配管の保溫仕様			
1	2	3	4
屋内露出 保温筒 鉄線 合成樹脂製カバー	原紙	■ ねがひかわ仕上	
機械室・書庫・倉庫 保温筒 鉄線	■ ねがひかわ仕上		
天井内・P.S内 保温筒 鉄線 アルミガラスクロス粘着テープ			
暗渠内 (ビット内) 保温筒 鉄線 ポリエチレンフィルム	■ ねがひかわ仕上		
屋外露出 保温筒 鉄線 ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上		

※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ビット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法: 桁橋ポリエチレン・ポリプロピレン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の外部露出部は保温を行なう。

4) 種別 空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)				
1	2	3	4	5
屋内露出 保温筒 鉄線 ■ ねがひかわ仕上	原紙	■ ねがひかわ仕上		
機械室・書庫・倉庫 保温筒 鉄線 ■ ねがひかわ仕上	■ ねがひかわ仕上			
天井内・P.S内 保温筒 鉄線 ■ ねがひかわ仕上	■ ねがひかわ仕上			
(温水・蒸気管以外) 保温筒 鉄線 ■ ねがひかわ仕上				
屋外露出 保温筒 鉄線 ■ ねがひかわ仕上	SUS鋼板仕上			

※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ビット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法: 桁橋ポリエチレン・ポリプロピレン管使用の場合は、上表保温不要。

5) 種別 機器保温仕様				
1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク 鋼板製タブク 鋼板 保温板 ポリエチレンフィルム 鉄線 SUS鋼板仕上				
温水・温水ヘッダー 鋼板製タブク 鋼板 保温板 鉄線 SUS鋼板仕上				
温水・蒸気管熱交換器 鋼板製タブク 鋼板 保温板 鉄線 SUS鋼板仕上				

※ 1) 密閉形膨脹タンク及び、ブレード形熱交換器は、保温施工不要

6) 種別 ダクト・チャンバー・煙道 保温仕様				
1	2	3	4	5
長方 屋内露出 一般・廊下 保温板 カラー鉄板				
形ダクト 機械室 保温板 アルミガラスクロス粘着テープ				
屋内露出、D.S内 保温板 アルミガラスクロス粘着テープ				
屋外露出、多湿箇所 保温板 ポリエチレンフィルム 鉄線 SUS鋼板				
スパ 保温板 一般・廊下 カラー鉄板				
イラ 機械室 保温板 アルミガラスクロス粘着テープ				
ルダ 屋内露出、多湿箇所 保温板 アルミガラスクロス粘着テープ				
屋外露出、多湿箇所 保温板 ポリエチレンフィルム 鉄線 SUS鋼板				
サブライチャンバー 保温板 ガラスクロス				
消音チャンバー、エルボ 保温板 ガラスクロス				
排煙ダクト長方形 保内露板 保温板 アルミガラスクロス粘着テープ				
排煙ダクト円形 保内露板 保温板 アルミガラスクロス粘着テープ				
煙道 保温板 カラー鉄板				

※ 1) 排煙ダクトは、ロックワール保温材、保温帯、1号を使用。

※ 2) 排煙ブランケットは、JIS G 3554 (亜鉛金網) による亜鉛金網を施した網目16線径0.55

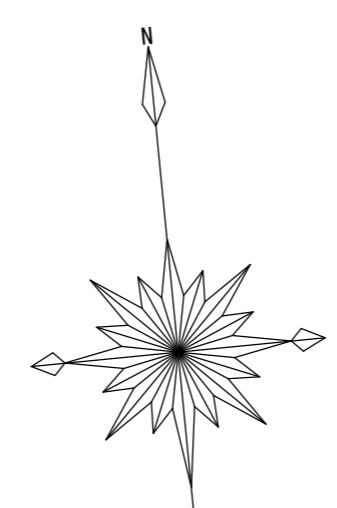
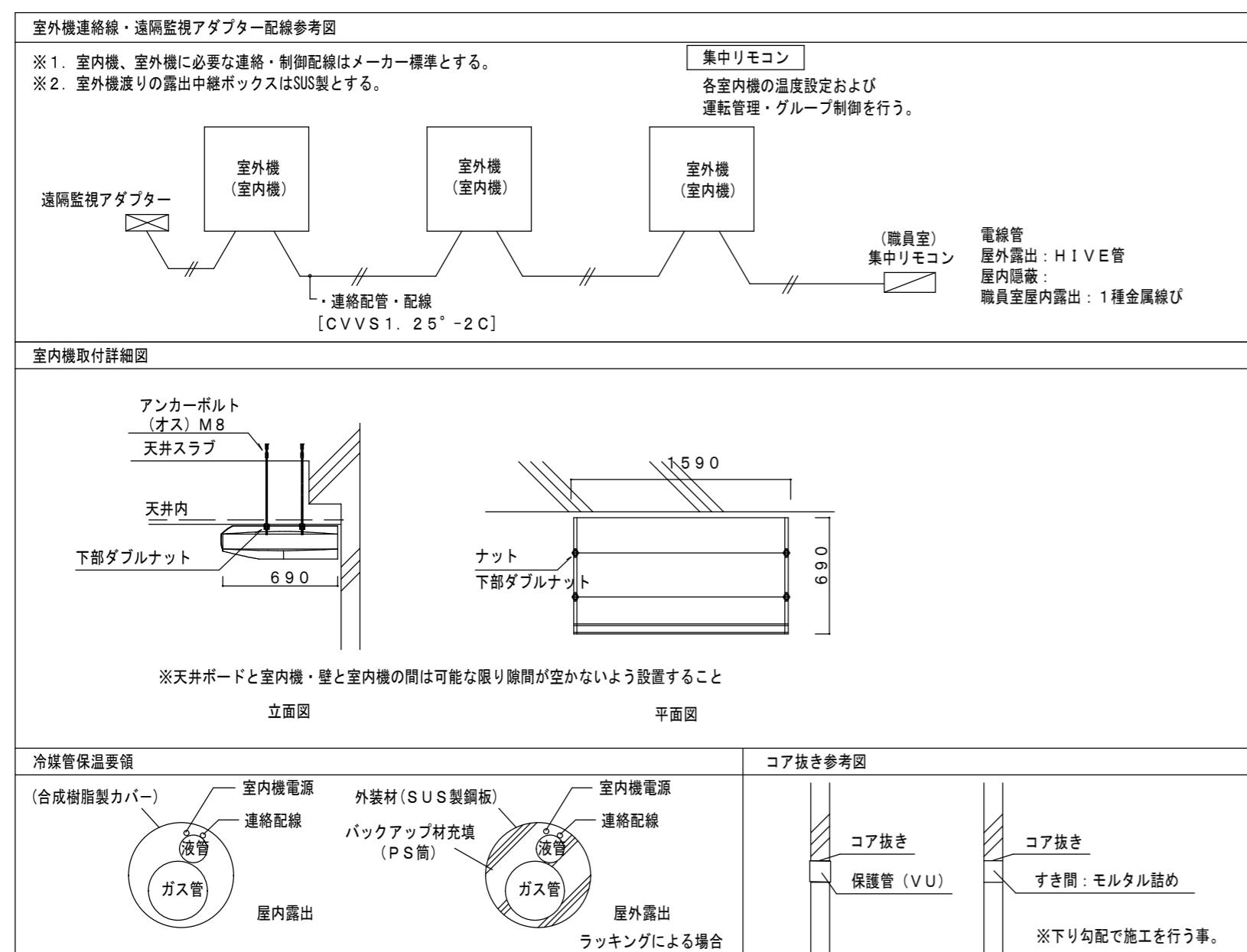
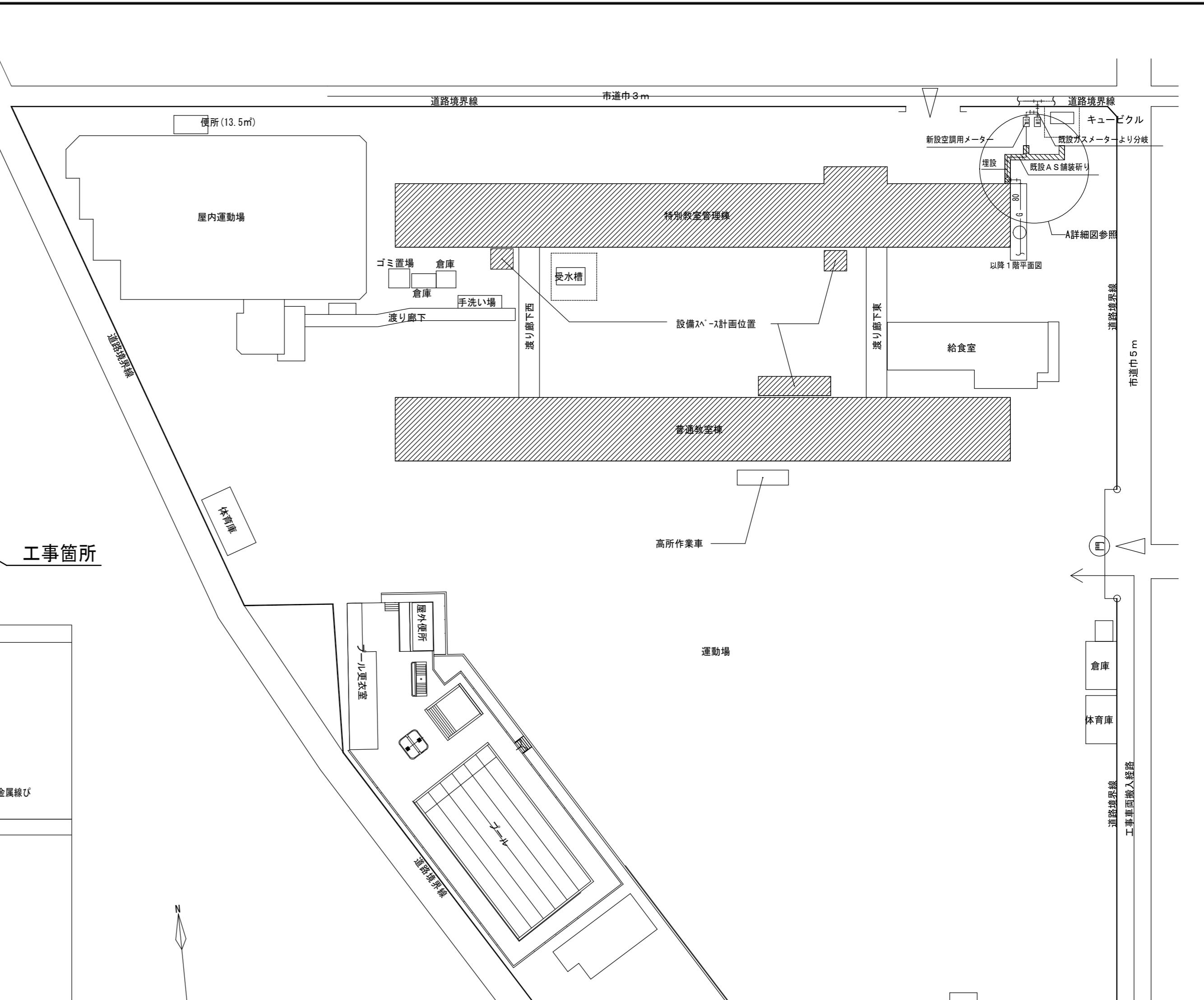
※ 3) 鋼板甲金網は、JIS H 2260 網目10、線径0.5

7) 種別 配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様				
1	2	3	4	5
長方 屋内露出 一般・廊下 保温板 カラー鉄板				
形ダクト 機械室 保温板 アルミガラスクロス粘着テープ				
屋内露出、D.S内 保温板 アルミガラスクロス粘着テープ				
屋外露出、多湿箇所 保温板 ポリエチレンフィルム 鉄線 SUS鋼板				

※ 1) 排煙ダクトは、屋内露出 [機械室、書庫、倉庫] の仕様。

8) 種別 機器設置基礎のアングルボルト
1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハンドル) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
3) 系統が分かれるように、必要箇所 (機械室、P.S内) に文字書き・矢印記入・バルブ取付を行なうこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
4) 機器・配管・支管金物には、絶縁処理を行なうこと。
5) 配管に空気を導くのである箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す。もしくはあと施工アングルボルトのopusとする。使用アングルカーボルトについては、機器仕様書、耐震クラッシャ等を確認すること。また、重量機器にあと施工アングルボルトを採用する場合、工法を採用すること。
7) 機器・配管の耐震措置及び機器・構造の防振・消音については、標準仕様書、標準規格、施工管理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
8) 雨がかり部に取り付けるガラリのチャンバーには、水抜きを設けること。
9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分歧部には、地中埋設管を施すすること。
10) 冷水管及び冷温水管の支材には、合成樹脂製支材受けを使用すること。
11) 水栓は、節水機器付きのものを使用すること。
12) 冷媒管等が露地に設置される場合は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
13) 地中設置管に於いては、下記の沈下対策を講ずること。 管は締め手の組合せにより可とう性をもたせる。 接続箇所は必ずに応じコンクリートで保護する。 土間配管は、土間筋に吊り下げるとど埋設配管を保持すること。 呼び径100以下はM10、125A以上はM12、250A以上はM16(3ステンレス) ドレンを使用する。
14) 露出及び多湿箇所 (トレーンチビット等) の配管葉合は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
15) 屋外設置のマンホール蓋には用途名を入れること。
16) 合成樹脂製カバーの上仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行なうこと。
17) 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
18) 建設発生土は場外自由処分とすること。

</div



 工事対象範囲を示す

空調機器表

形式:ガスヒートポンプ式(都市ガス)

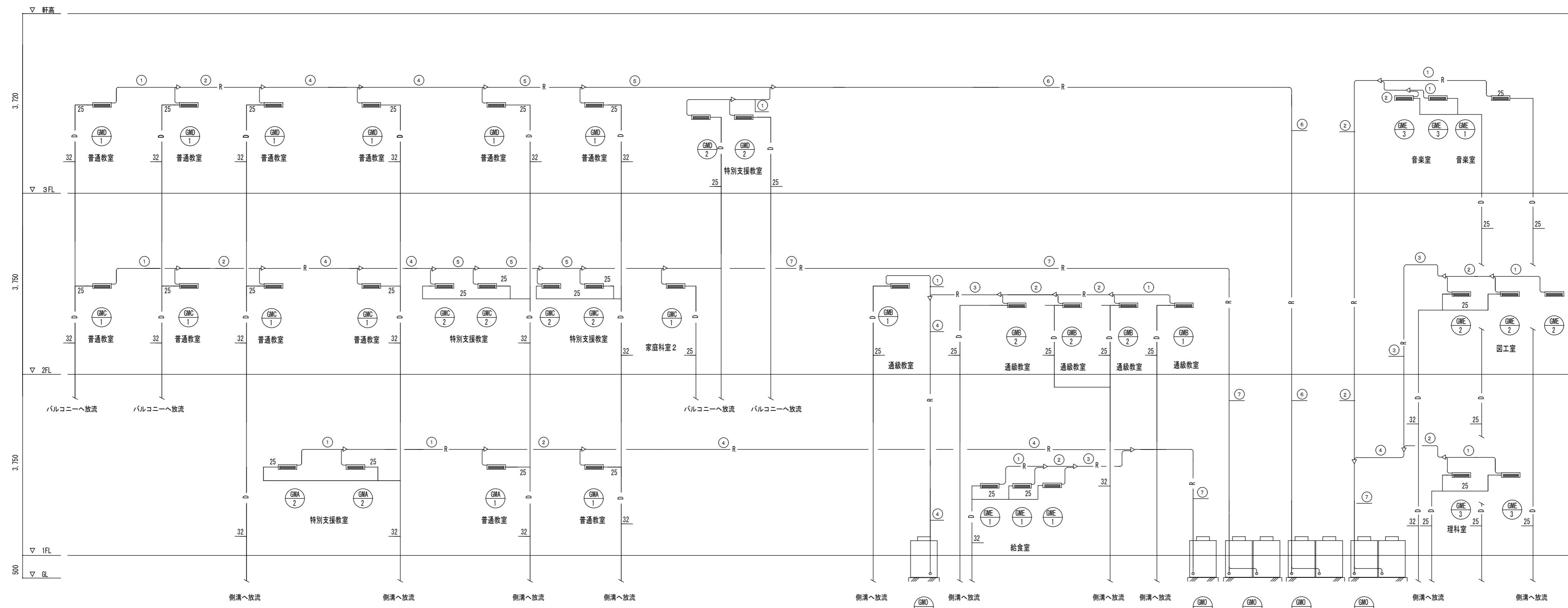
機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量			台数	設置場所及び備考	機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様			台数	設置場所及び備考	
			電源	エンジン	消費電力					(V)	(kW)	(kW)			
			(V)	(kW)	(kW)					(V)	(kW)	(kW)			
GMO-A	ビル用マルチエアコン	形式 室外機 連結設置タイプ	3-200	10.0×2	冷 0.645×2	1	屋外(1F、	GMO-D	ビル用マルチエアコン	形式 室外機 連結設置タイプ	3-200	12.4×2	冷 0.914×2	1	屋外(3F系統)
		冷房能力 定格 90.0(45.0+45.0) kW			暖 0.505×2		給食室系統)			冷房能力 定格 112.0(56.0+56.0) kW			暖 0.628×2		
		暖房能力 定格 100.0(50.0+50.0) kW								暖房能力 定格 126.0(63.0+63.0) kW					
		付属品 遠隔監視ガバナー、臭気対応キット、他一式共								付属品 臭気対応キット、他一式共					
		基礎 コンクリート基礎								基礎 コンクリート基礎					
		※機器能力は各メーカー基準より室内機能力(厨房用)を100%満たす適切な能力を選定すること。													
GMA-1	ビル用マルチエアコン	形式 天吊形	1-200		冷 0.343	2	1F普通教室	GMD-1	ビル用マルチエアコン	形式 天吊形	1-200		冷 0.343	6	3F普通教室
		冷房能力 定格 16.0 kW			暖 0.343					冷房能力 定格 16.0 kW			暖 0.343		
		暖房能力 定格 18.0 kW								暖房能力 定格 18.0 kW					
		付属品 ワイヤレスリモコン、他一式共								付属品 ワイヤレスリモコン、他一式共					
GMA-2	ビル用マルチエアコン	形式 天吊形	1-200		冷 0.112	2	1F特別支援教室	GMD-2	ビル用マルチエアコン	形式 天吊形	1-200		冷 0.112	2	3F特別支援教室
		冷房能力 定格 8.0 kW			暖 0.112					冷房能力 定格 8.0 kW			暖 0.112		
		暖房能力 定格 9.0 kW								暖房能力 定格 9.0 kW					
		付属品 ワイヤレスリモコン、他一式共								付属品 ワイヤレスリモコン、他一式共					
GMA-3	ビル用マルチエアコン	形式 天吊形(厨房用)	1-200	0.218	冷 0.218	3	給食室	GMO-E	ビル用マルチエアコン	形式 室外機 連結設置タイプ	3-200	12.4×2	冷 0.914×2	1	屋外(北棟系統)
		冷房能力 定格 14.0 kW		0.204	暖 0.204					冷房能力 定格 112.0(56.0+56.0) kW			暖 0.628×2		
		暖房能力 定格 16.0 kW								暖房能力 定格 126.0(63.0+63.0) kW					
		付属品 ワイヤードリモコン、他一式共								付属品 臭気対応キット、他一式共					
GMO-B	ビル用マルチエアコン	形式 室外機	3-200	12.4	冷 0.914	1	屋外(2F北系統)			基礎 コンクリート基礎					
		冷房能力 定格 56.0 kW			暖 0.628										
		暖房能力 定格 63.0 kW													
		付属品 臭気対応キット、他一式共													
		基礎 コンクリート基礎													
GMB-1	ビル用マルチエアコン	形式 天吊形	1-200		冷 0.343	2	通級教室	GME-1	ビル用マルチエアコン	形式 天吊形	1-200		冷 0.343	1	音楽室
		冷房能力 定格 16.0 kW			暖 0.343					冷房能力 定格 16.0 kW			暖 0.343		
		暖房能力 定格 18.0 kW								暖房能力 定格 18.0 kW					
		付属品 ワイヤレスリモコン、他一式共								ワイヤレスリモコン、他一式共					
GMB-2	ビル用マルチエアコン	形式 天吊形	1-200		冷 0.112	3	通級教室	GME-2	ビル用マルチエアコン	形式 天吊形	1-200		冷 0.253	3	図工室
		冷房能力 定格 8.0 kW			暖 0.112					冷房能力 定格 14.0 kW			暖 0.253		
		暖房能力 定格 9.0 kW								暖房能力 定格 16.0 kW					
		付属品 ワイヤレスリモコン、他一式共								付属品 ワイヤレスリモコン、他一式共					
GMO-C	ビル用マルチエアコン	形式 室外機 連結設置タイプ	3-200	12.4×2	冷 0.914×2	1	屋外(2F南系統)	GME-3	ビル用マルチエアコン	形式 天吊形	1-200		冷 0.237	4	音楽室、理科室
		冷房能力 定格 112.0(56.0+56.0) kW			暖 0.628×2					冷房能力 定格 11.2 kW			暖 0.237		
		暖房能力 定格 126.0(63.0+63.0) kW								暖房能力 定格 12.5 kW					
		付属品 臭気対応キット、他一式共								付属品 ワイヤレスリモコン、他一式共					
		基礎 コンクリート基礎													
GMC-1	ビル用マルチエアコン	形式 天吊形	1-200		冷 0.343	5	2F普通教室	R-1	集中管理リモコン	形式 タッチパネル式集中管理コントローラー	1-100			1	1F職員室
		冷房能力 定格 16.0 kW			暖 0.343					仕様 アイコン表示、カーケッティング画面、遠隔監視・操作					
		暖房能力 定格 18.0 kW								ケーブル制御・個別/一括運転・停止・異常表示・温度設定					
		付属品 ワイヤレスリモコン、他一式共													
GMC-2	ビル用マルチエアコン	形式 天吊形	1-200		冷 0.112	4	2F特別支援教室								
		冷房能力 定格 8.0 kW			暖 0.112										
		暖房能力 定格 9.0 kW													
		付属品 ワイヤレスリモコン、他一式共													

図示記号	
記号	名称
— G —	ガス管
— R —	冷媒管
— D —	ドレン管

備考	NISSHIN SEKKEI 新設計株式会社 三重県知事登録第1-518号			Job Title 津市立修成小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事			DATE	
				Drawing Title 空調機器表			SCALE	
							A2: NS A3: NS	
				一級建築士 No.215909 国分恵之	二級建築士 No.10498 多湖弘樹			M-O 4 原図: A2

液 管		ガス管
①	9.5φ	15.9φ
②	9.5φ	22.2φ
③	12.7φ	28.6φ
④	15.9φ	28.6φ
⑤	19.1φ	31.8φ
⑥	19.1φ	38.1φ

渡り配線 CVVS1.25SQ-2C

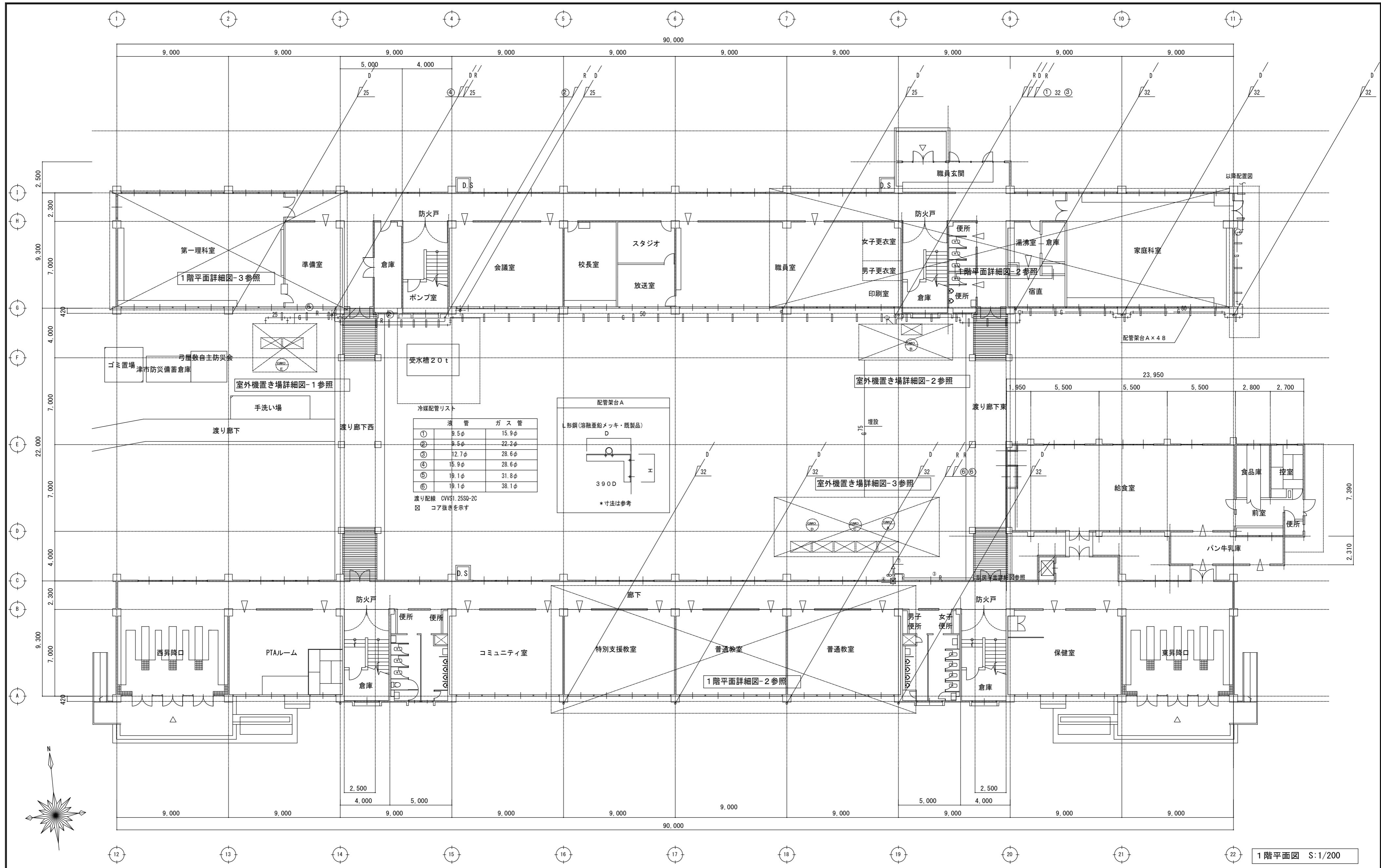


空調系統図

備 考	

NISSHIN
SEKKEI
日新設計株式会社

NISSHIN SEKKEI		Job Title 津市立修成小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事		DATE	
新設計株式会社		Drawing Title 系統図 空調設備		SCALE NS	
三重県知事登録第1-518号		設計担当者		M-05 原図: A2	
一級建築士 No.265708	出口基樹	一級建築士 No.215909 國分恵之	二級建築士 No.10498 多湖弘樹		



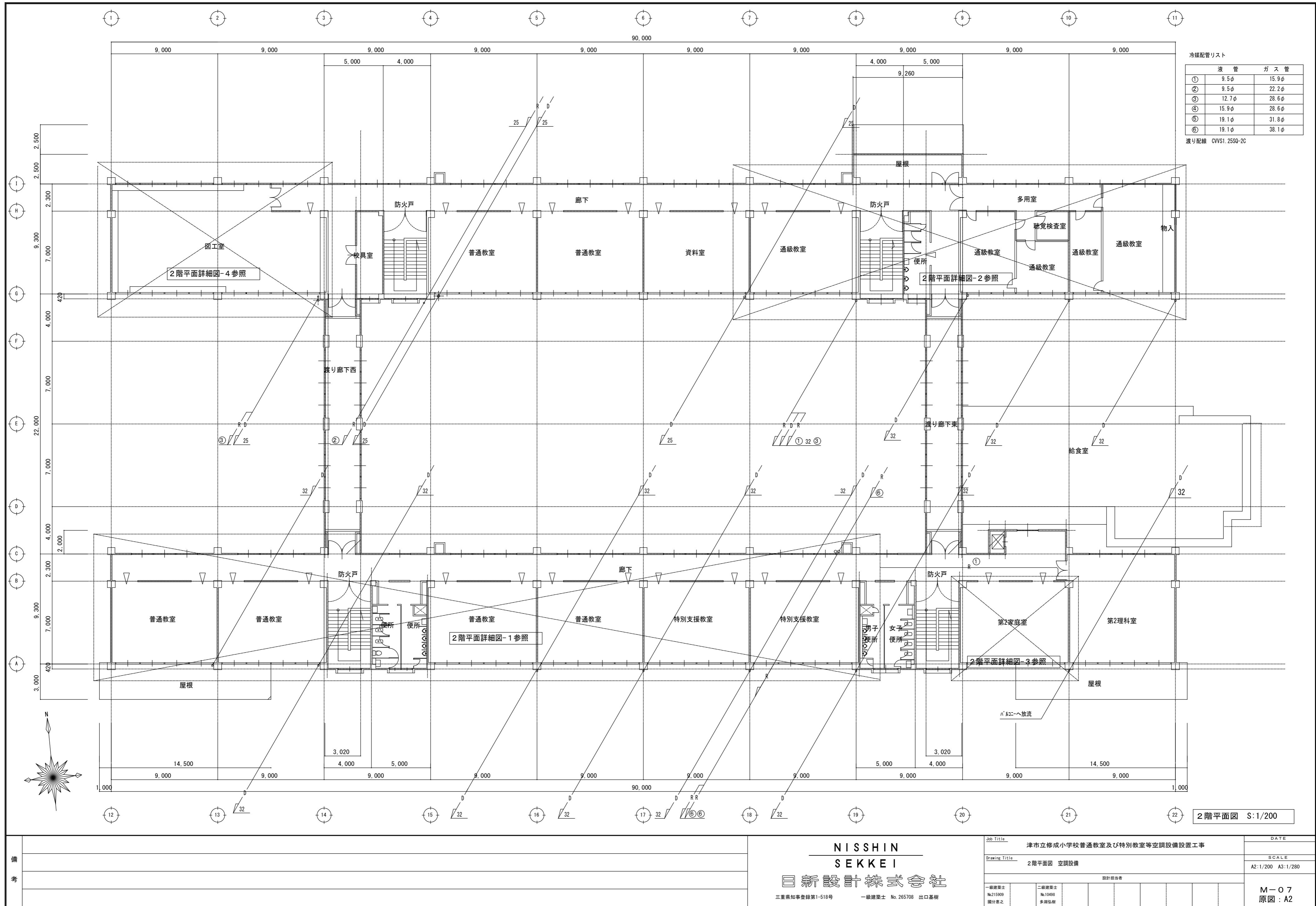
備考

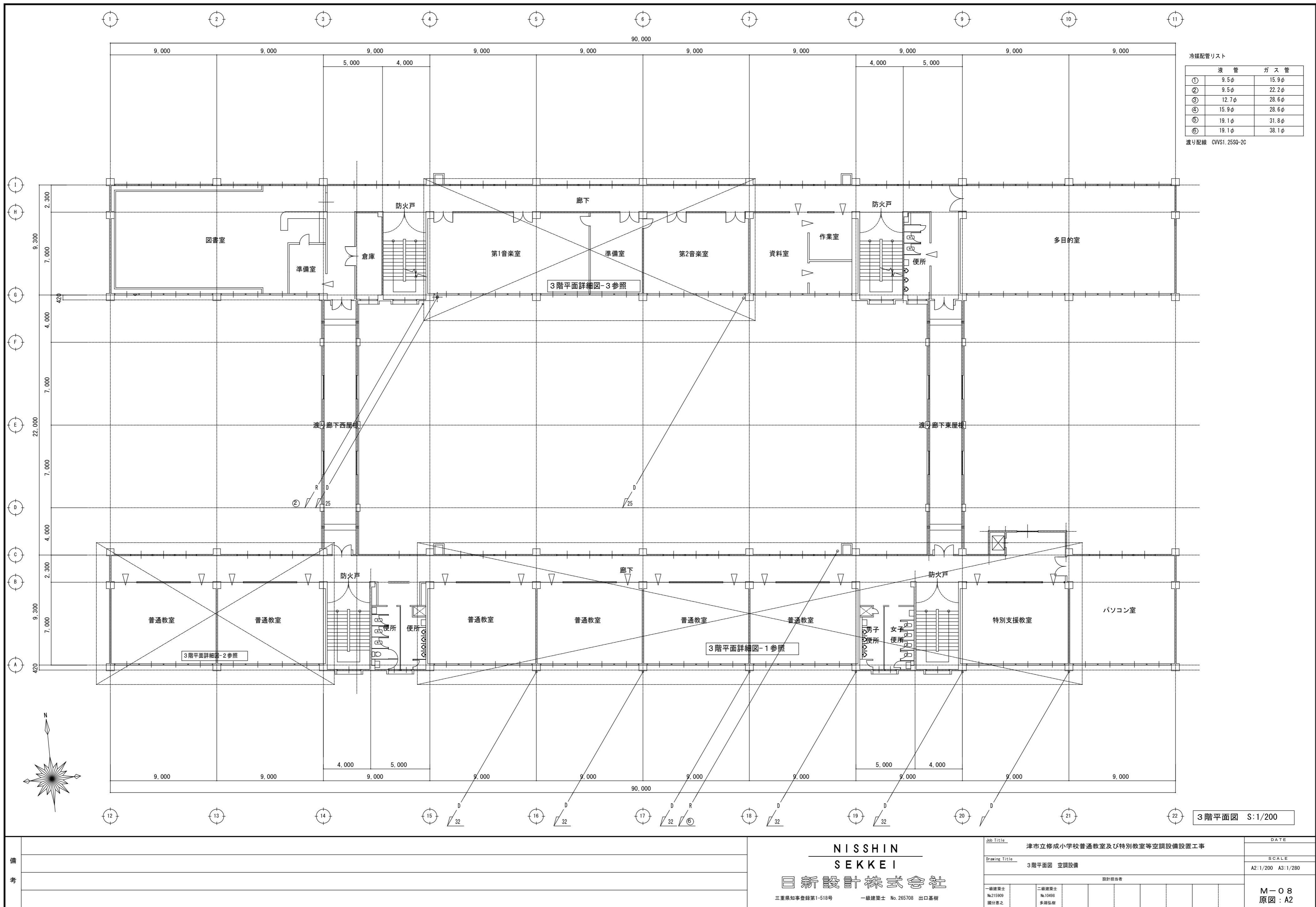
NISSHIN
SEKKEI
新設計株式会社
三重県知事登録第1-518号 一級建築士 No.265708 出口基樹

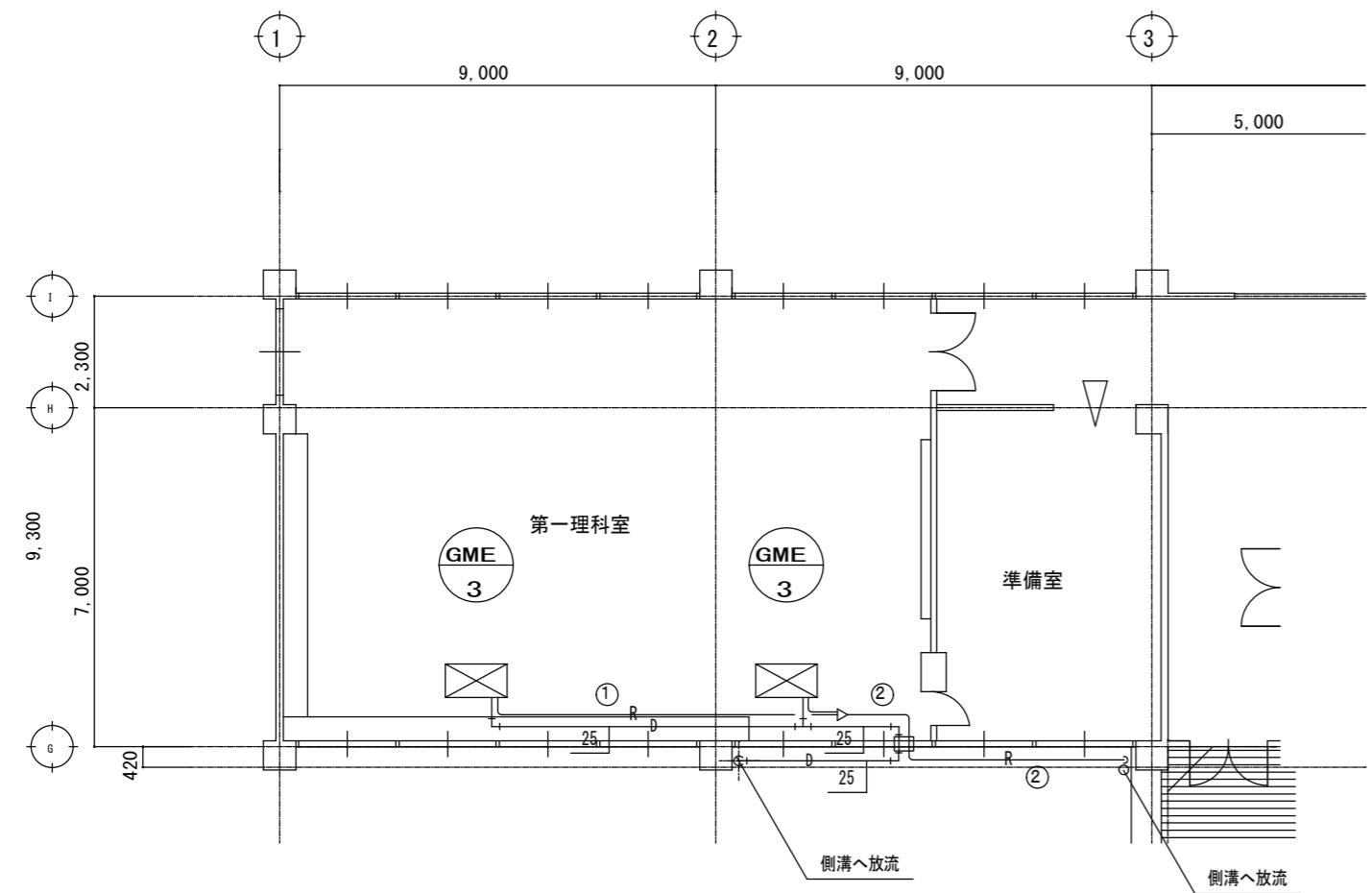
Job Title: 津市立修成小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事
Drawing Title: 1階平面図 空調設備

DATE
SCALE
A2:1/200 A3:1/280
M-06 原図: A2

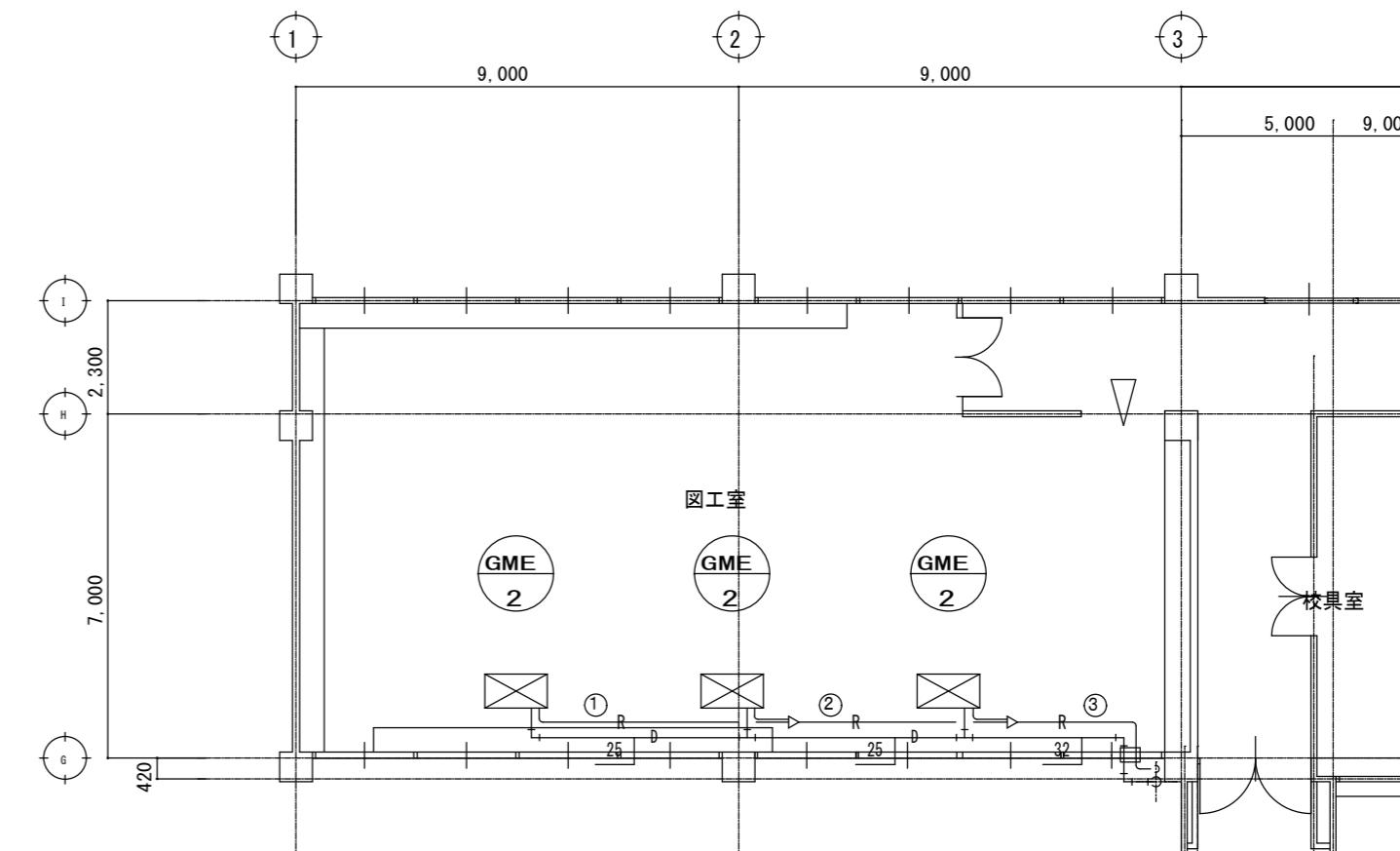
一級建築士 No.265708 出口基樹



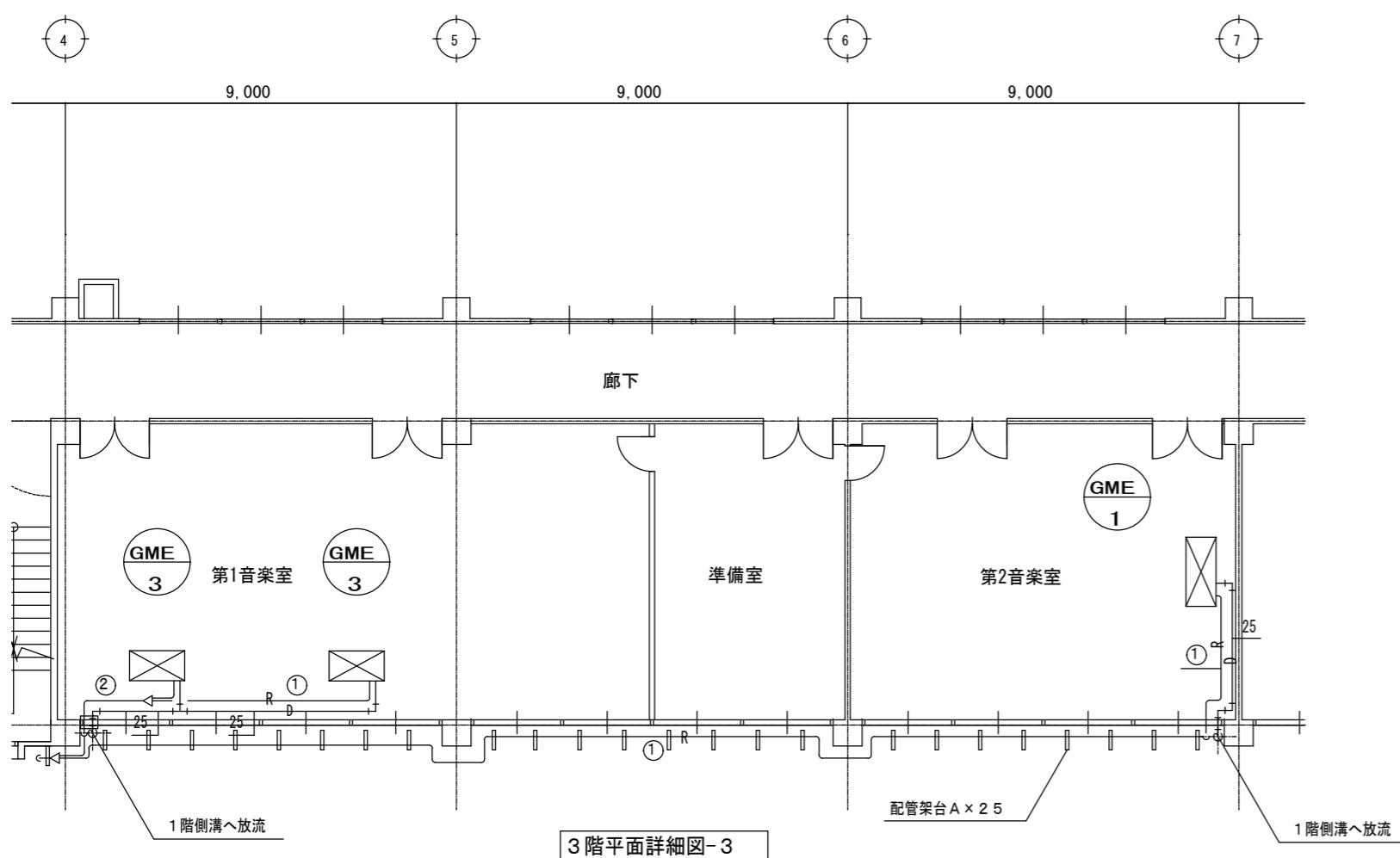




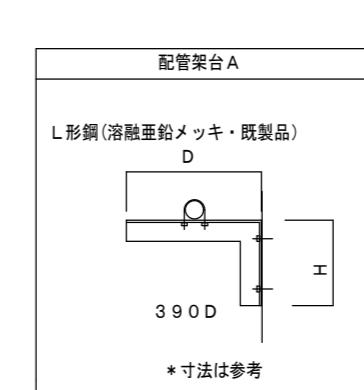
1階平面詳細図-3



2階平面詳細図-4



3階平面詳細図-3

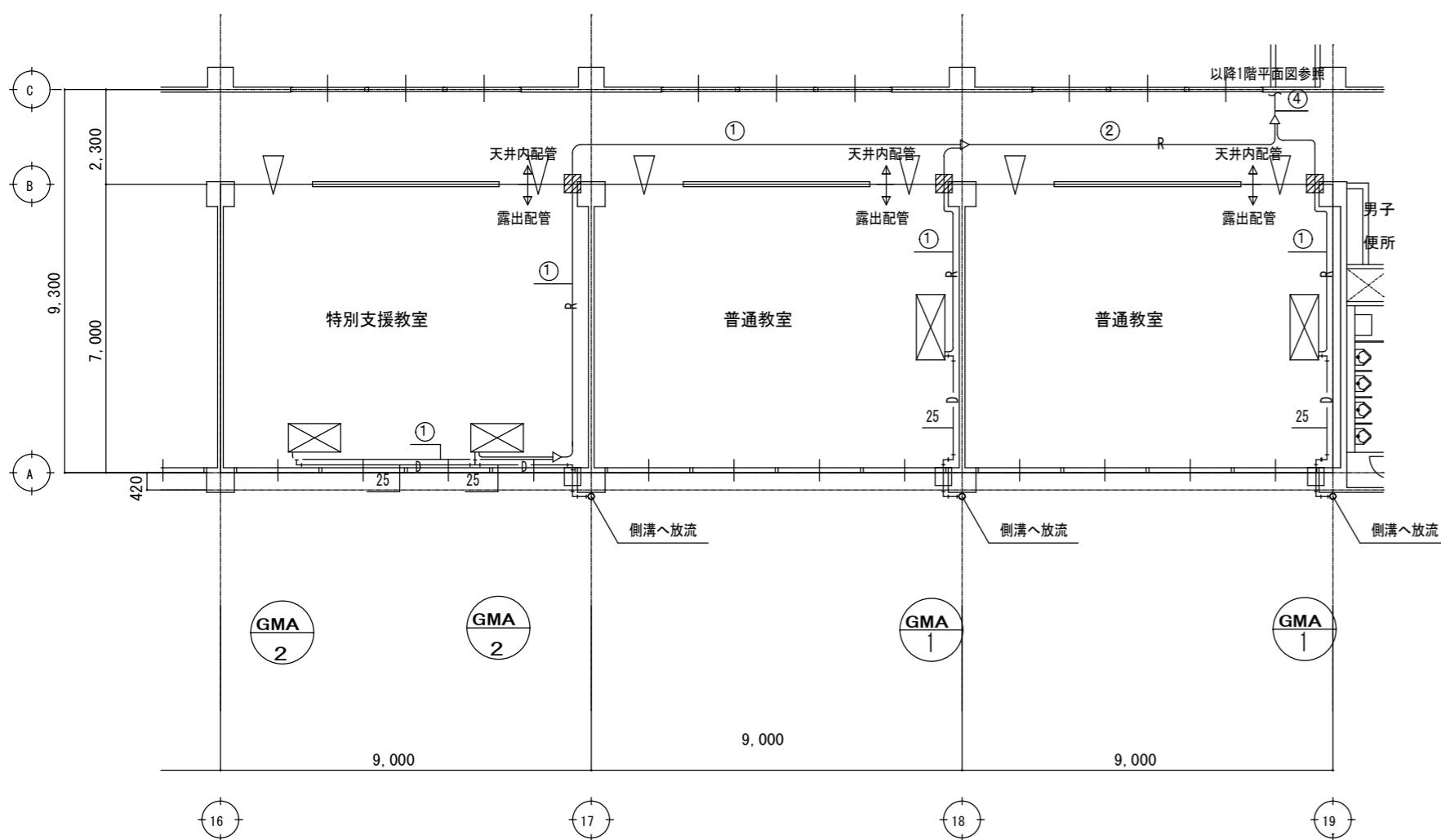


配管架台A
L形鋼(溶融亜鉛メッキ・既製品)
D
390 D
25
*寸法は参考

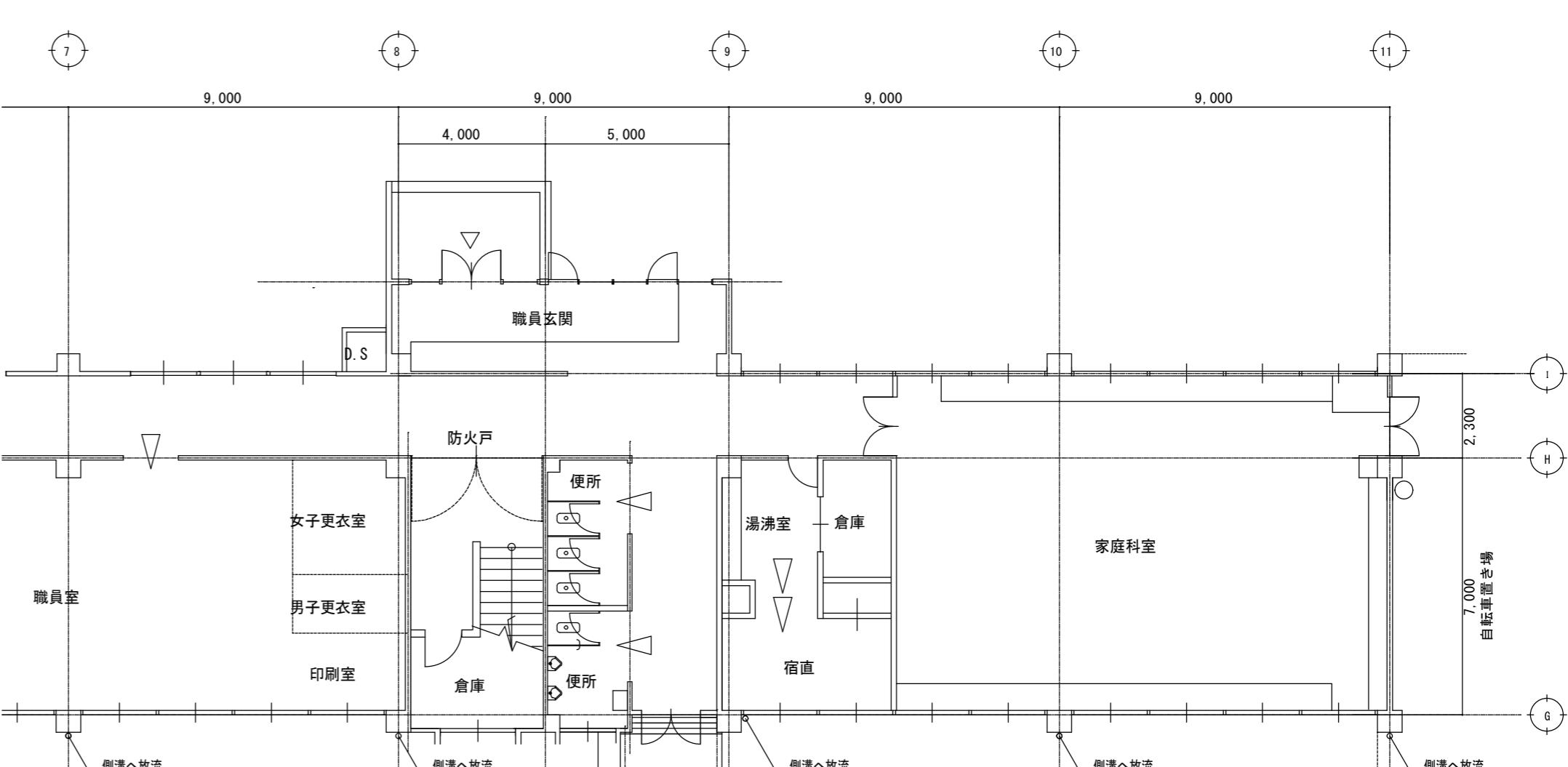
冷媒配管リスト	
液管	ガス管
① 9.5φ	15.9φ
② 9.5φ	22.2φ
③ 12.7φ	28.6φ
④ 15.9φ	28.6φ
⑤ 19.1φ	31.8φ
⑥ 19.1φ	38.1φ

渡り配線 CVWS1.2SSQ-2C
 アルミバネル貫通を示す 既設建築具貫通 (区画貫通)
 ※冷媒配管の露出部分は合成樹脂カバー仕上げとする

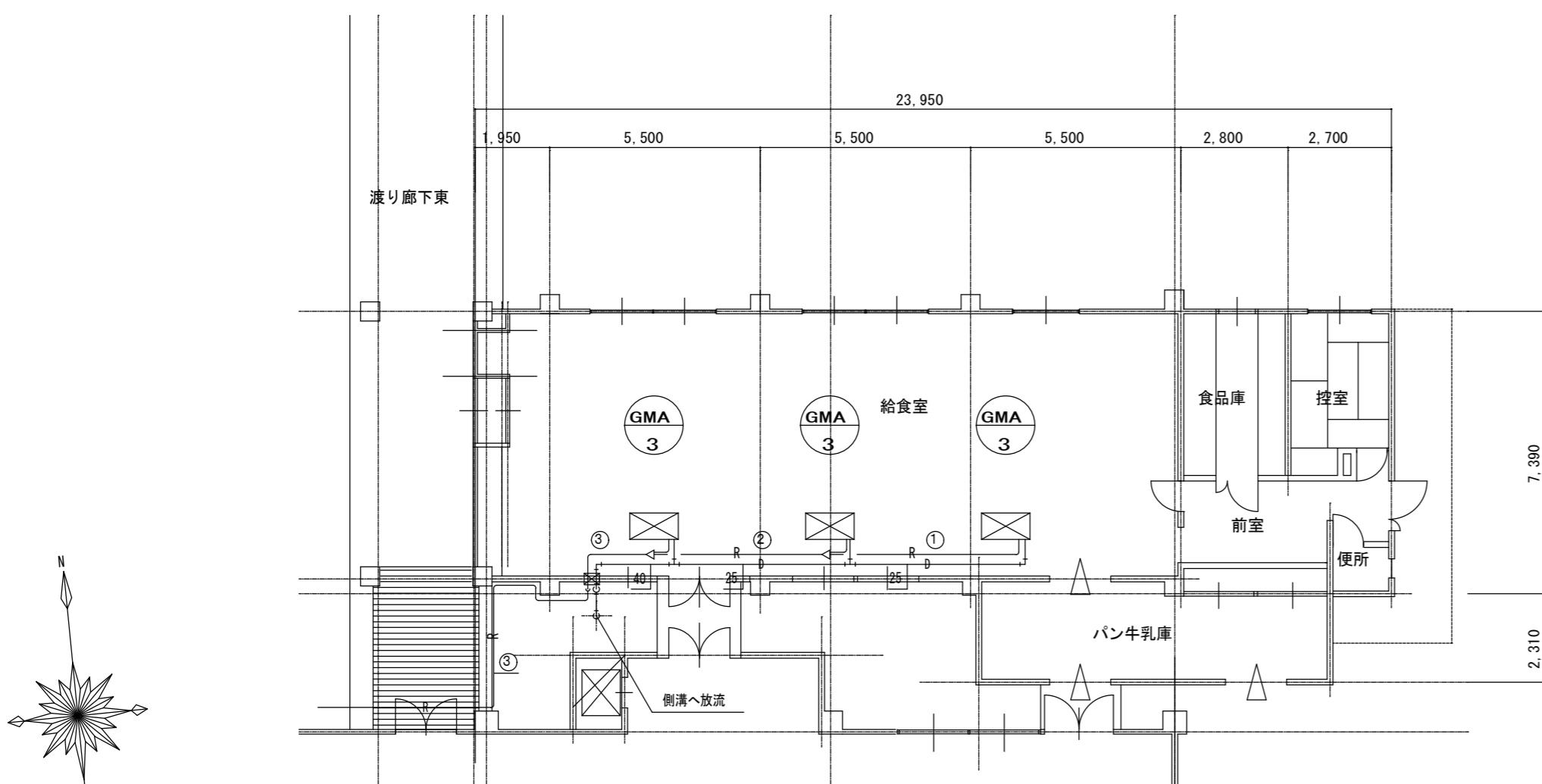
※ドレン配管の露出部分は結露防止層付VPとする



1階平面詳細図-1



1階平面詳細図-2



厨房平面詳細図-4

冷媒配管リスト		
	液 管	ガス管
①	9.5φ	15.9φ
②	9.5φ	22.2φ
③	12.7φ	28.6φ
④	15.9φ	28.6φ
⑤	19.1φ	31.8φ
⑥	19.1φ	38.1φ

渡り配線 CVVS1 25SQ-2C

□ アルミパネル貫通を示す ■ 既設建築建具貫通

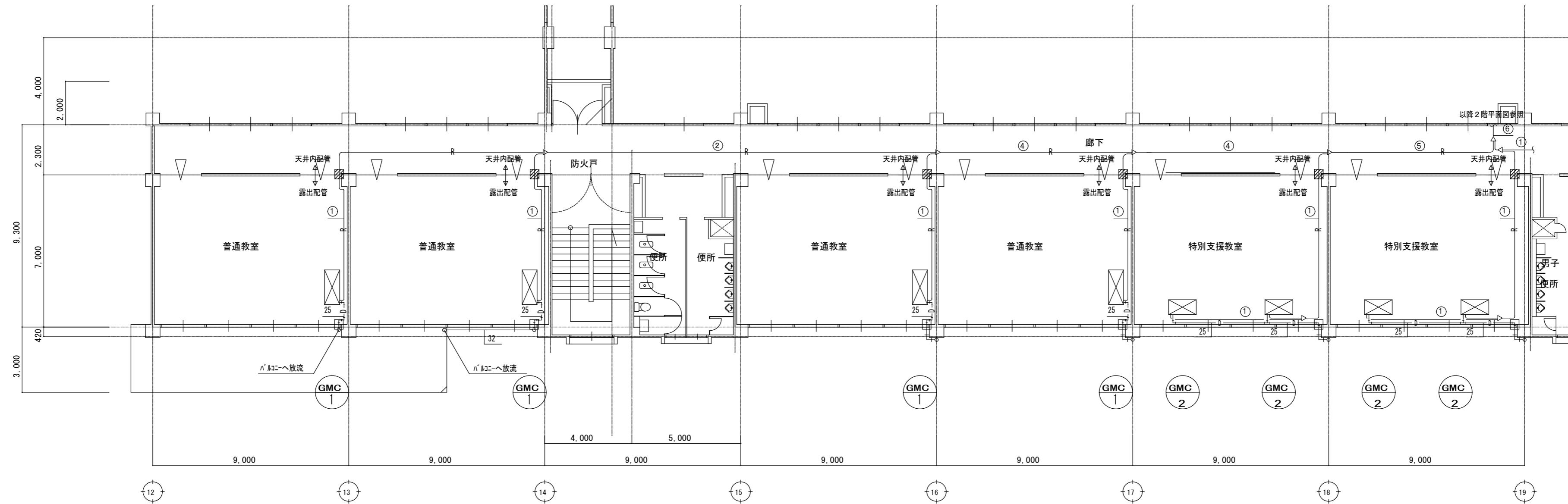
□ お問い合わせ

□ ノ 扱とと示す

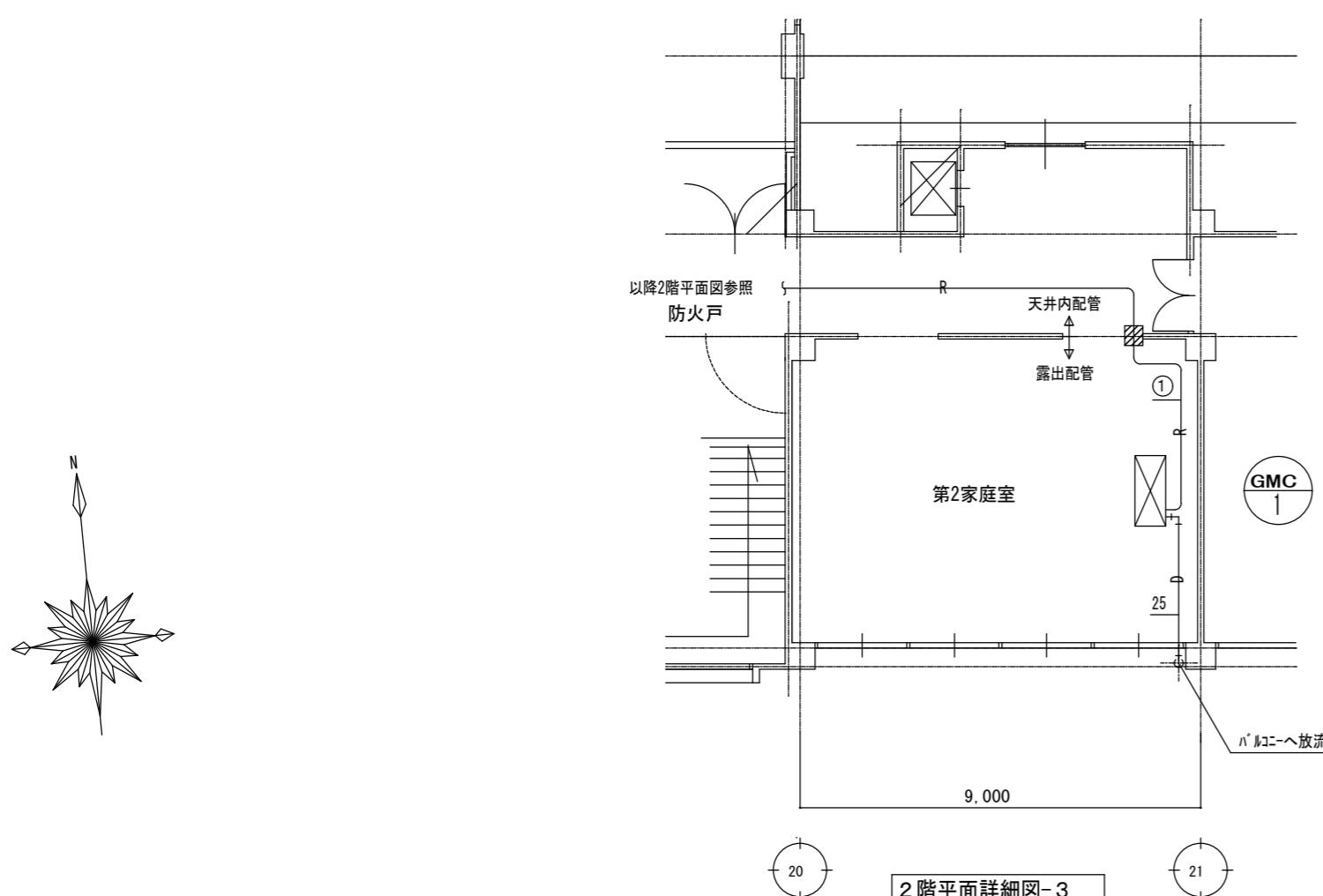
介媒配管の露出部分は合成樹脂カバー仕上げとする

以上、配管の露出部分は結露防止層付VR上士

・レン配管の露田部分は結露防止層付Wとする



2階平面詳細図-1



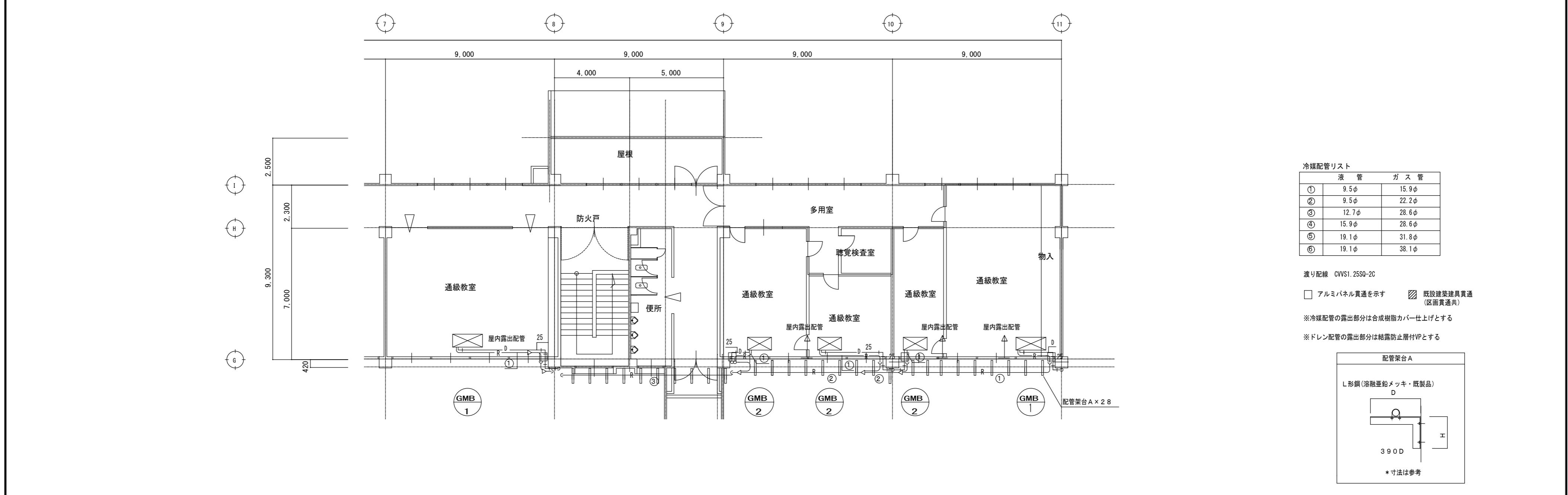
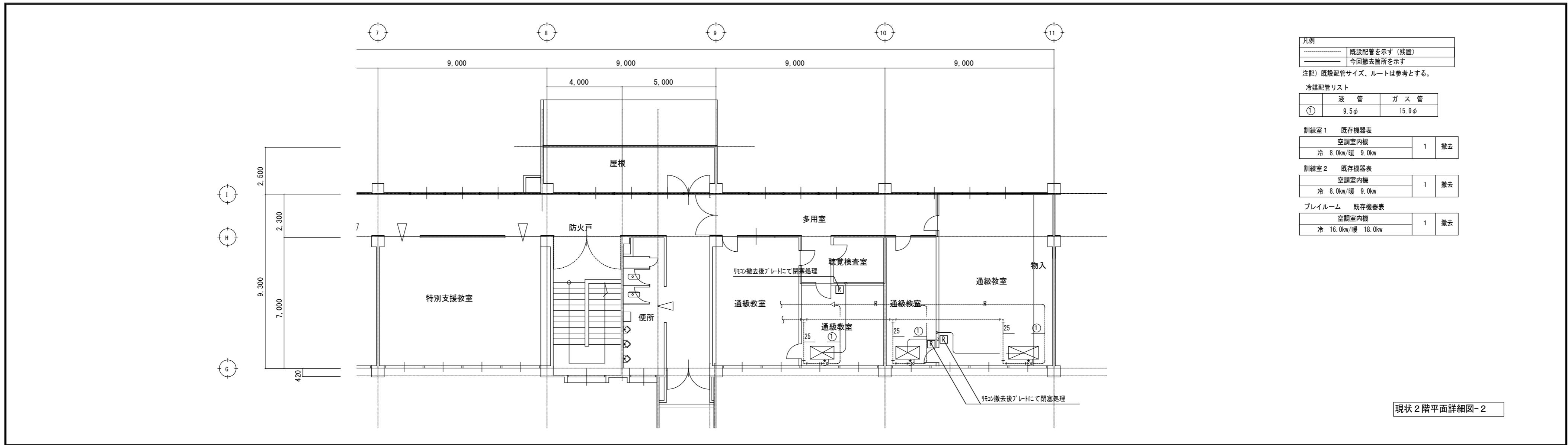
2階平面詳細図-3

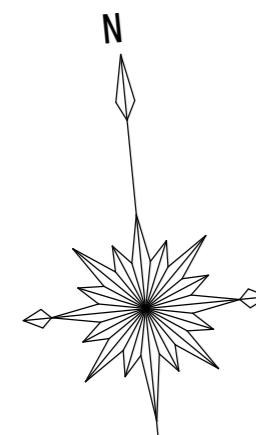
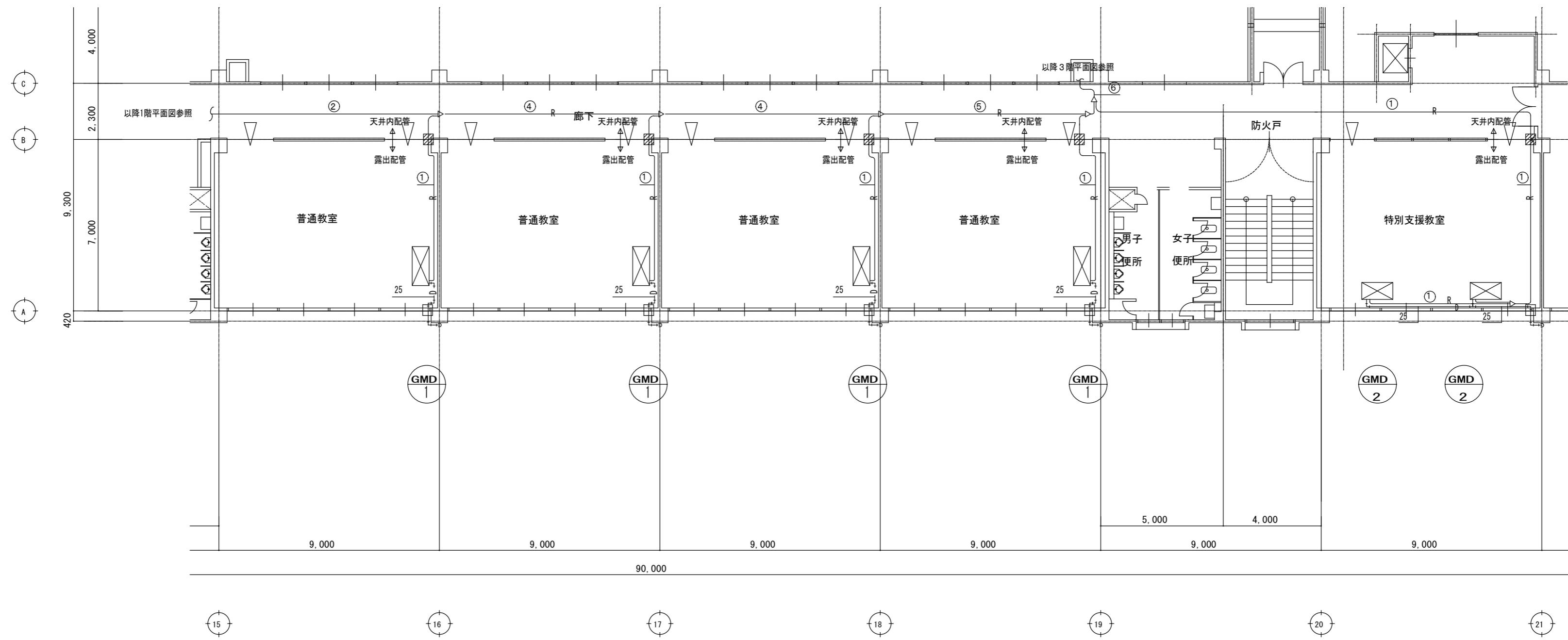
冷媒配管リスト	
液管	ガス管
①	9.5φ
②	9.5φ
③	12.7φ
④	15.9φ
⑤	19.1φ
⑥	19.1φ
	15.9φ
	22.2φ
	28.6φ
	31.8φ
	38.1φ

通り配線 CVVS1.25SQ-2C コア抜きを示す
 アルミパネル貫通を示す 既設建築建具貫通
 (区画貫通)

※冷媒配管の露出部分は合成樹脂カバー仕上げとする

※ドレン配管の露出部分は結露防止層付VPとする

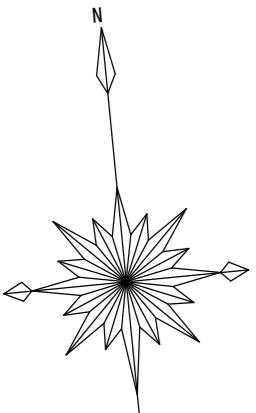
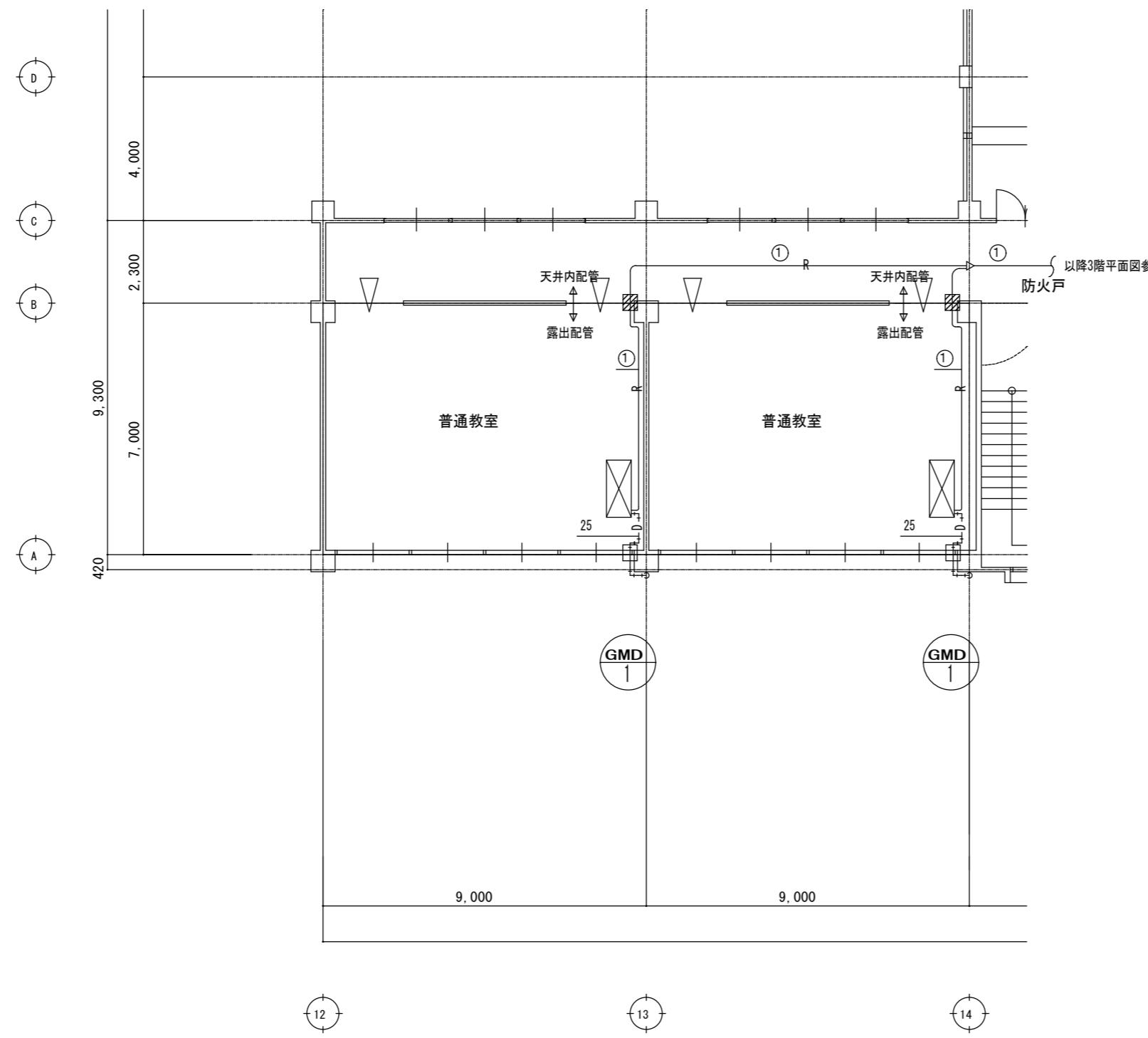




3階平面詳細図-1

冷媒配管リスト		
	液 管	ガス 管
①	9.5φ	15.9φ
②	9.5φ	22.2φ
③	12.7φ	28.6φ
④	15.9φ	28.6φ
⑤	19.1φ	31.8φ
⑥	19.1φ	38.1φ

渡り配線 CVVS1.25SQ-2C コア抜きを示す
 アルミバネル貫通を示す 既設建築建具貫通
 (画面貫通共)
 ※冷媒配管の露出部分は合成樹脂カバー仕上げとする
 ※ドレン配管の露出部分は結露防止層付VPとする



3階平面詳細図-2

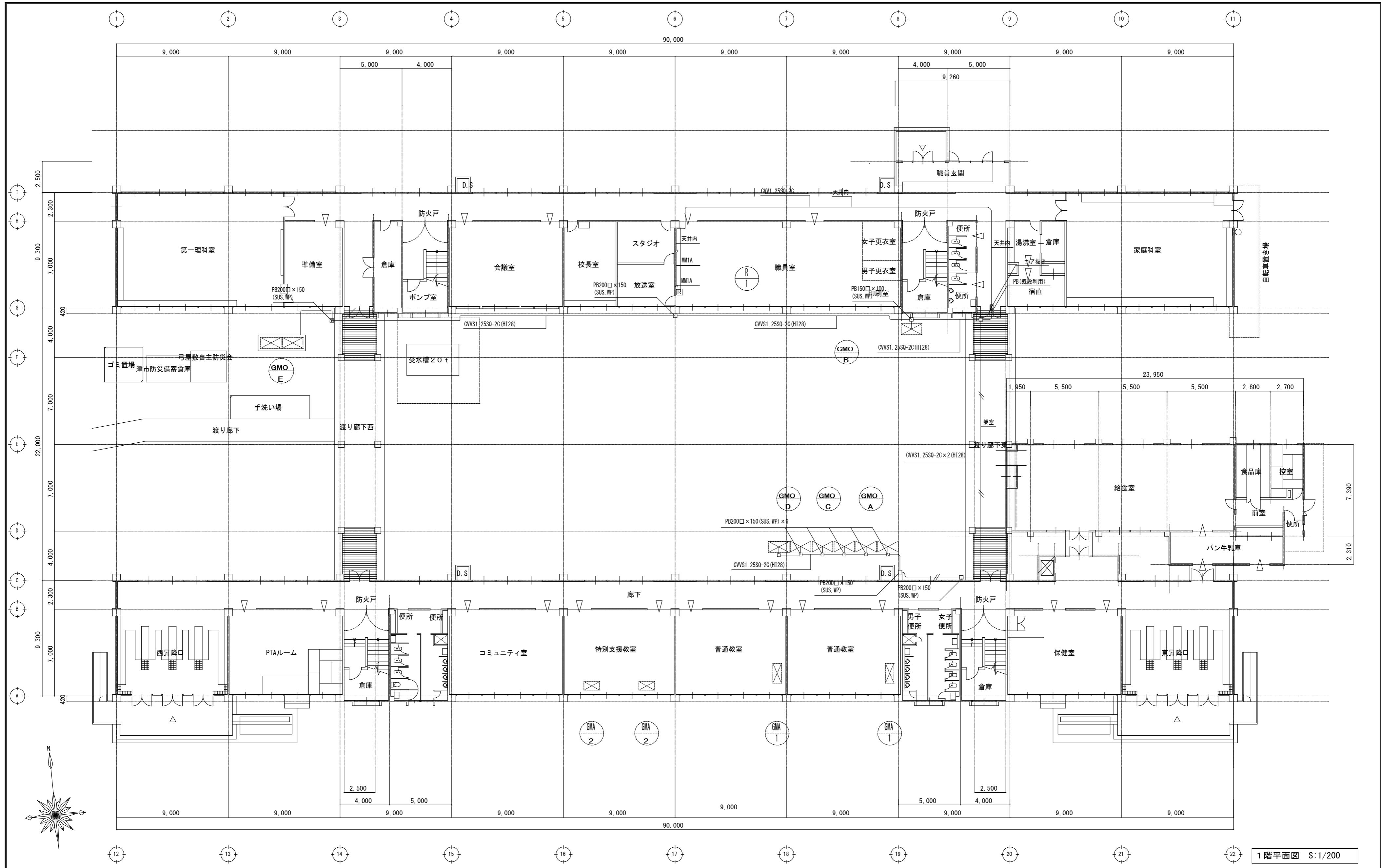
液 管		ガス管
①	9.5φ	15.9φ
②	9.5φ	22.2φ
③	12.7φ	28.6φ
④	15.9φ	28.6φ
⑤	19.1φ	31.8φ
⑥	19.1φ	38.1φ

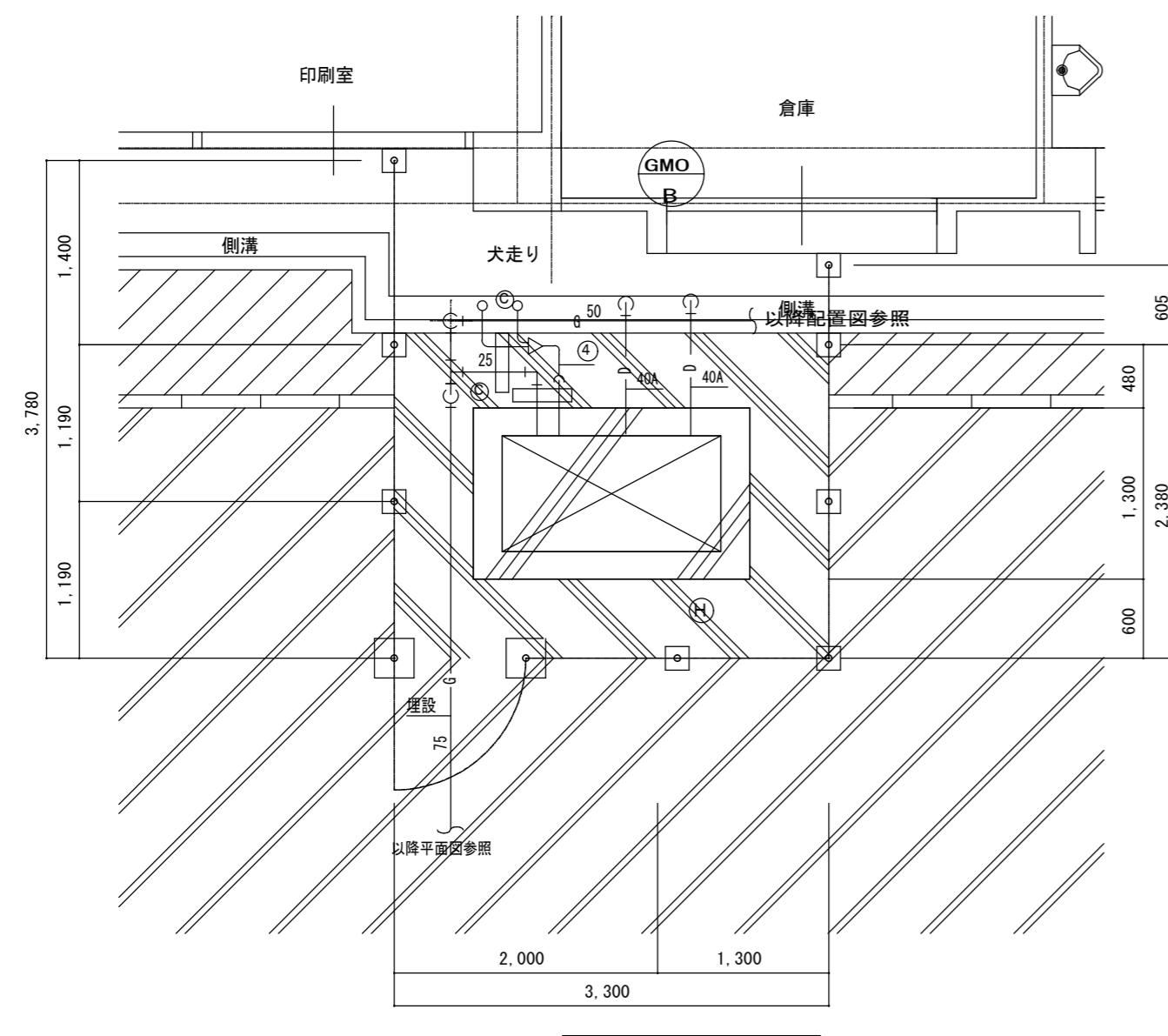
度り配線 CVVS1.25SQ-2C

■ アルミパネル貫通を示す

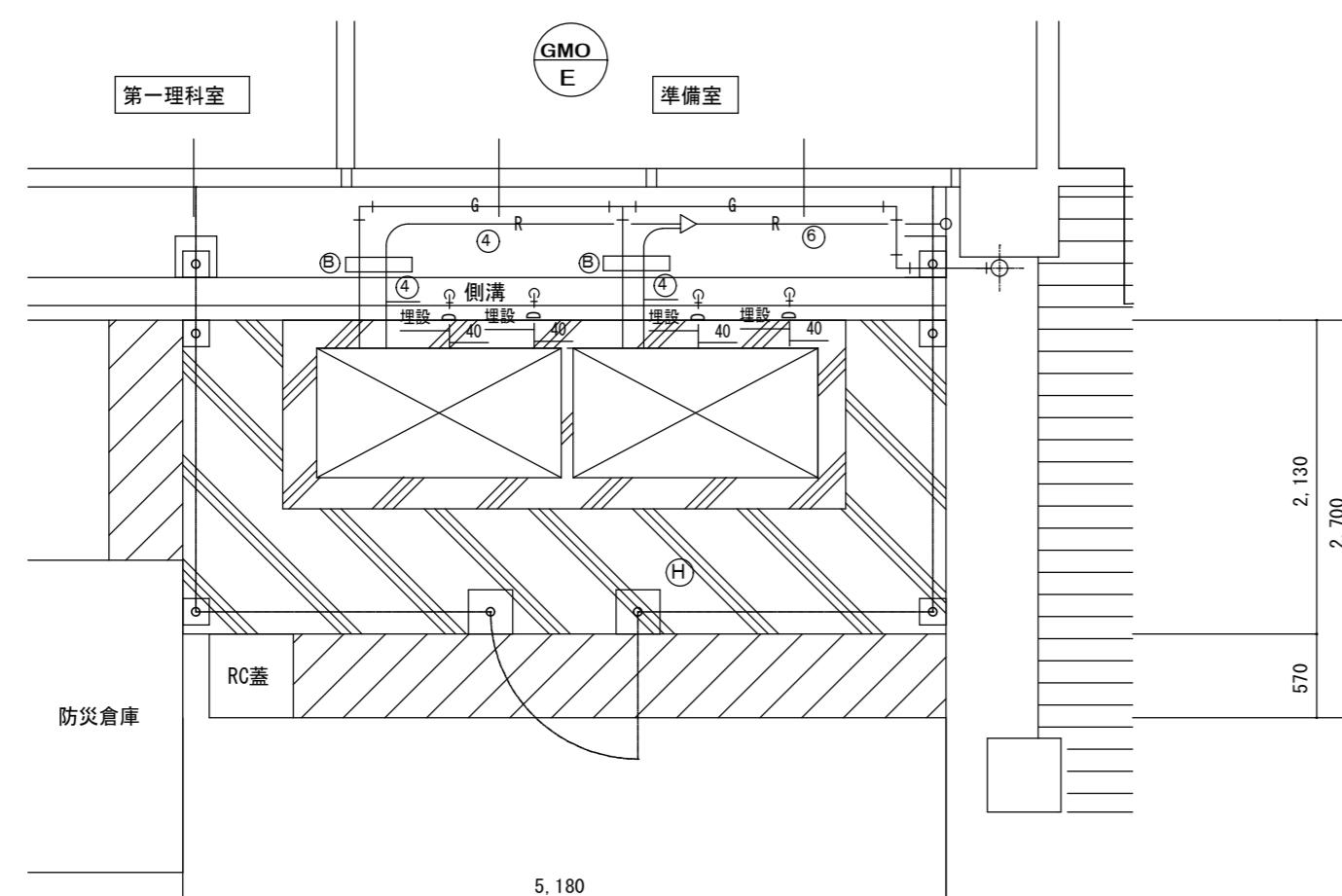
（西国貴通人）

第 1 章 第 2 节 重心部分以结重防上层 (HWD 上层)

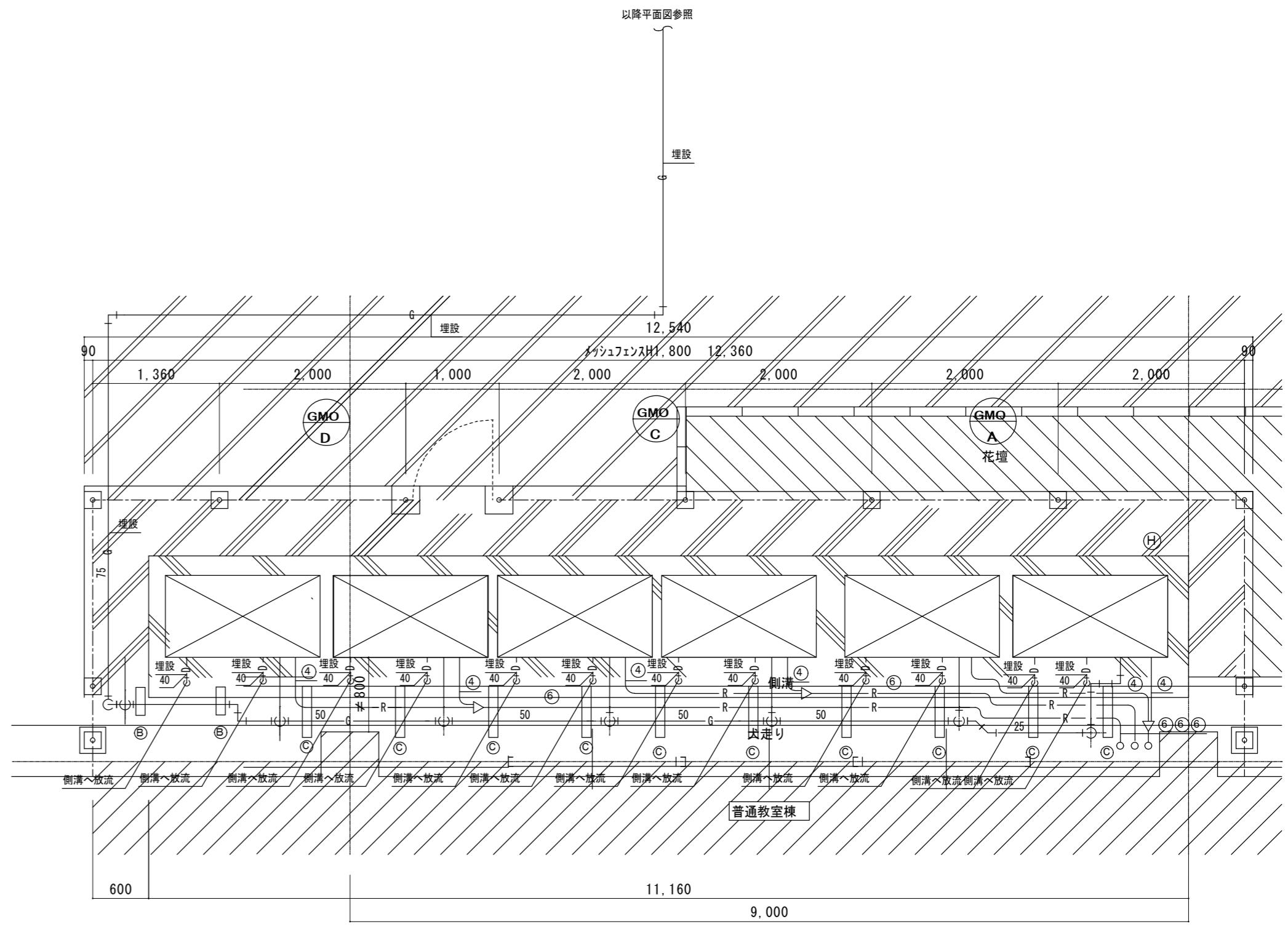




室外機置き場詳細図-2



室外機置き場詳細図-1



室外機置き場詳細図-3

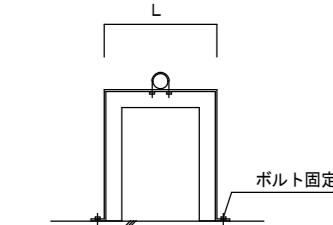
配管架台詳細図

L型 鋼(溶融亜鉛メッキ・既製品)

冷媒配管リスト		
	液 管	ガス管
①	9.5φ	15.9φ
②	9.5φ	22.2φ
③	12.7φ	28.6φ
④	15.9φ	28.6φ
⑤	19.1φ	31.8φ
⑥	19.1φ	38.1φ

渡り配線 CVVS1 25SQ-2C

(H) ABC10号消火器(SUS露出BOX共)を示す



© 2021

③ 5001

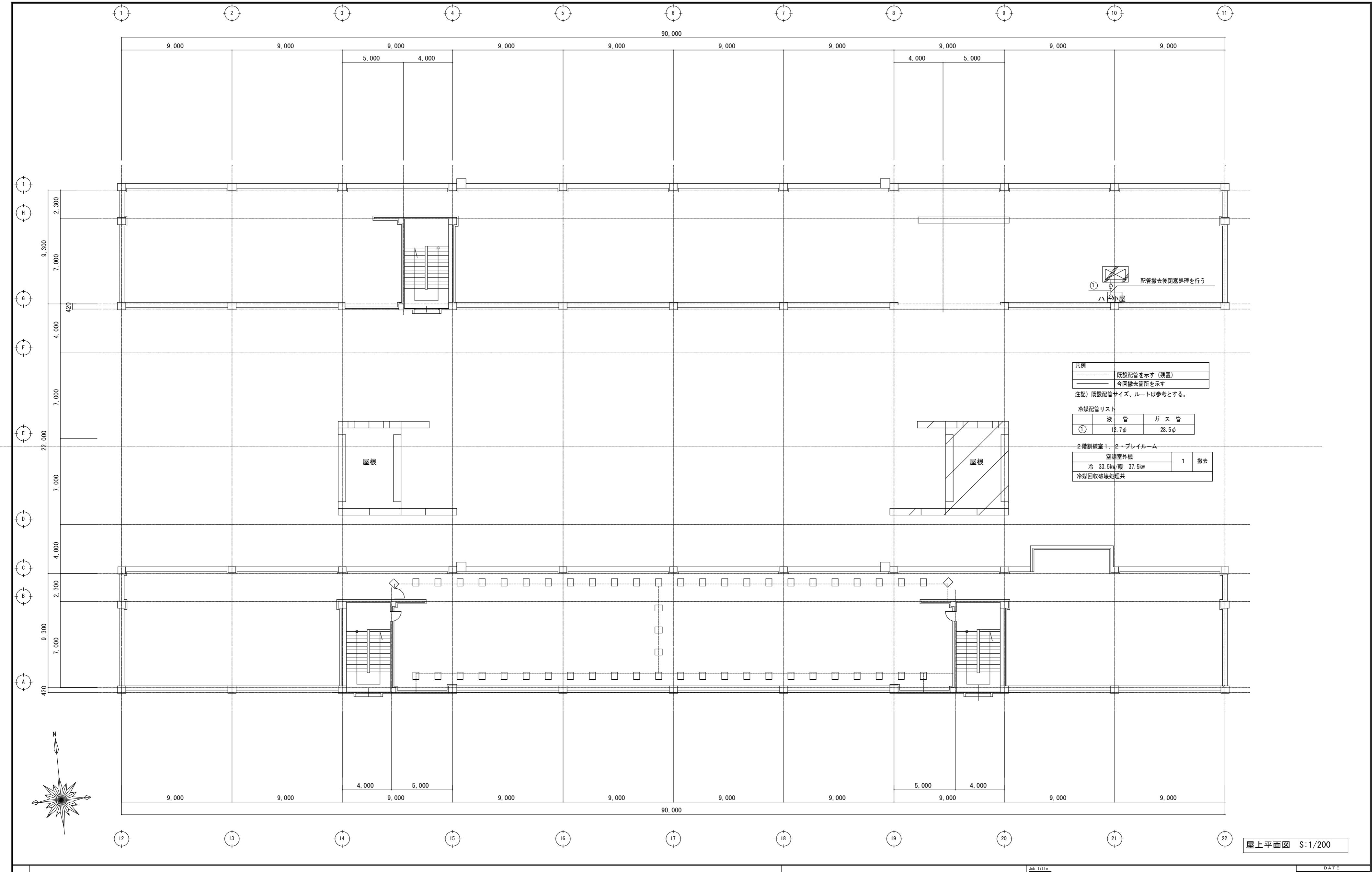
※寸法は参考

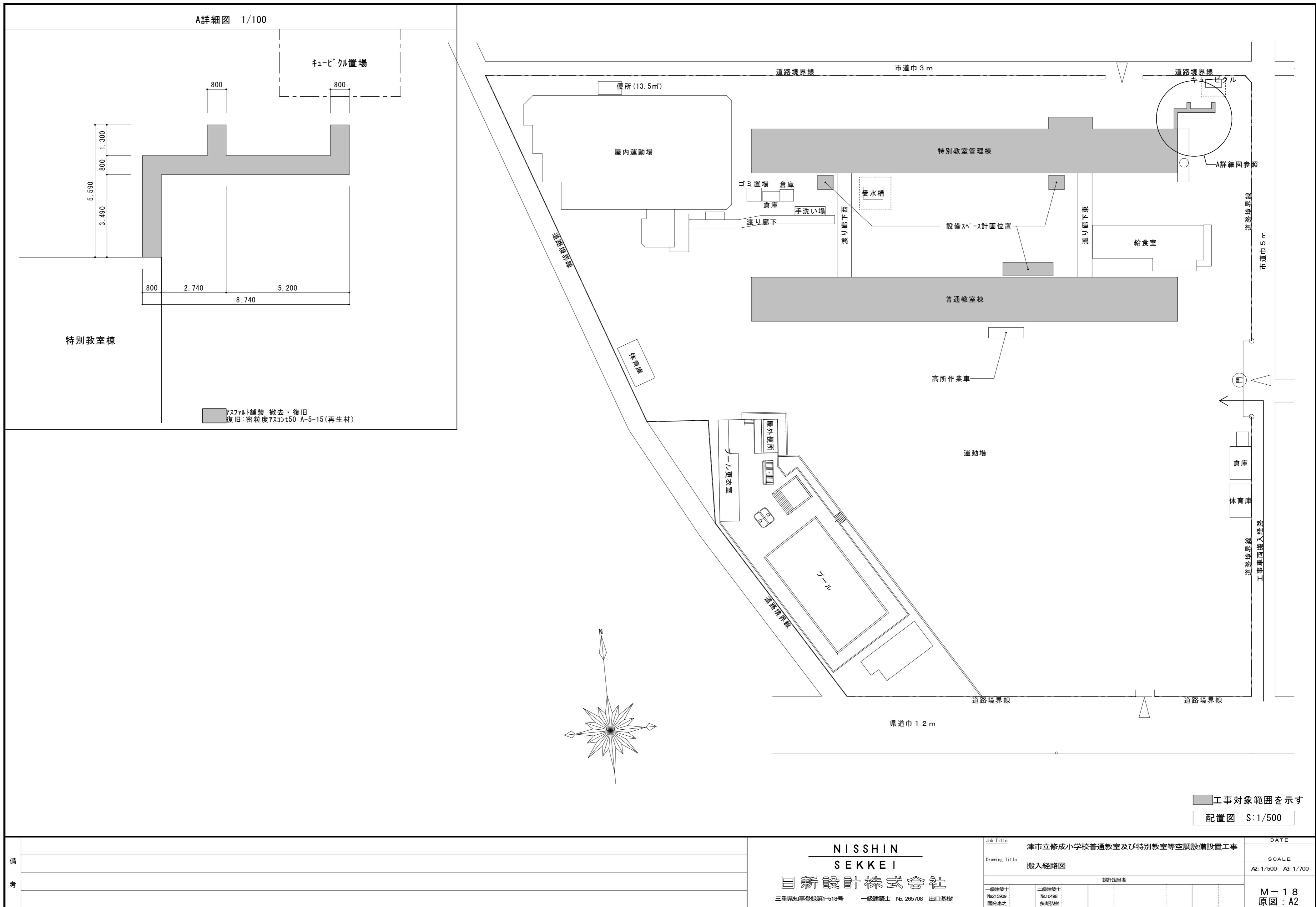
11. *What is the primary purpose of the following statement?*

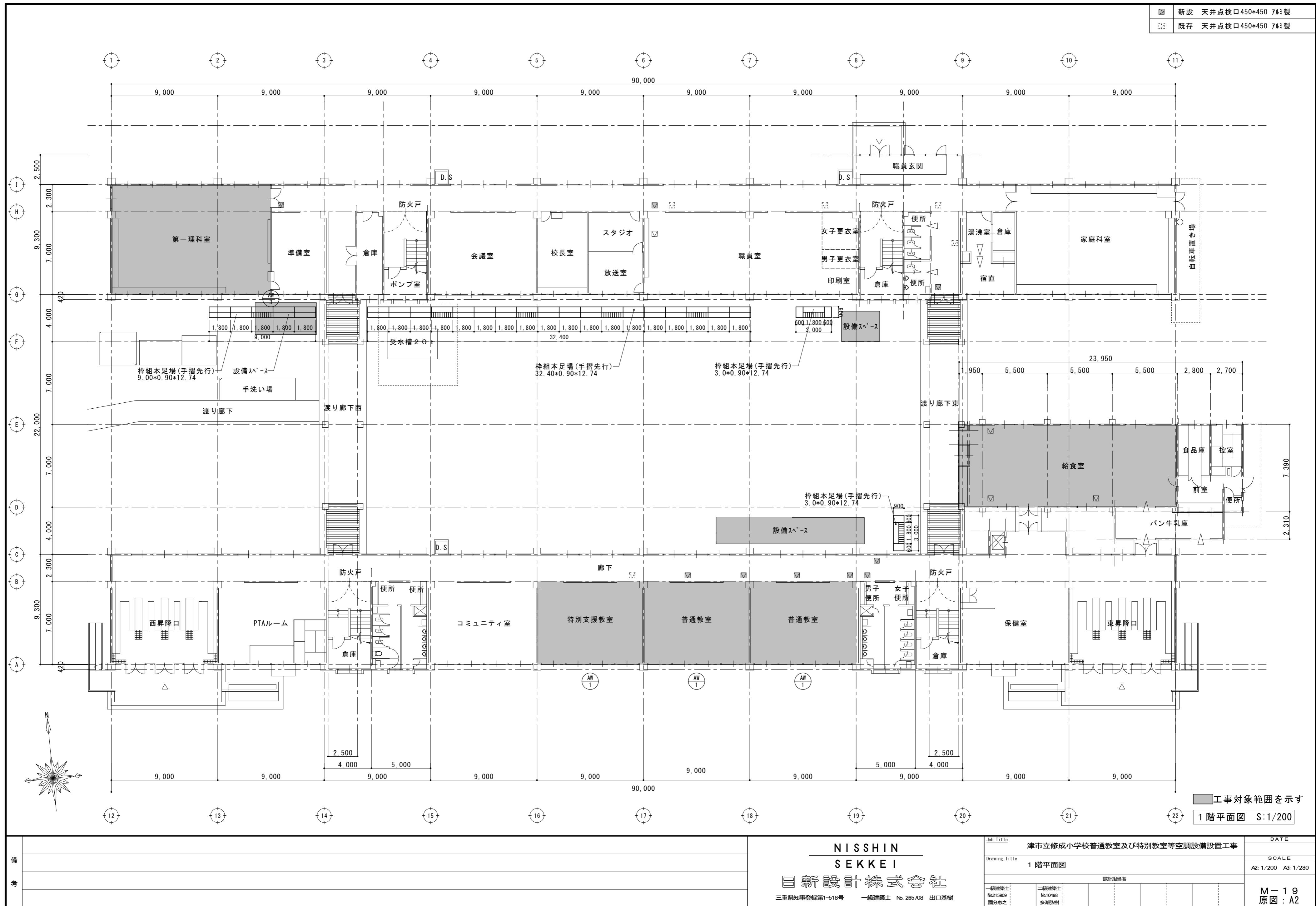
DATE

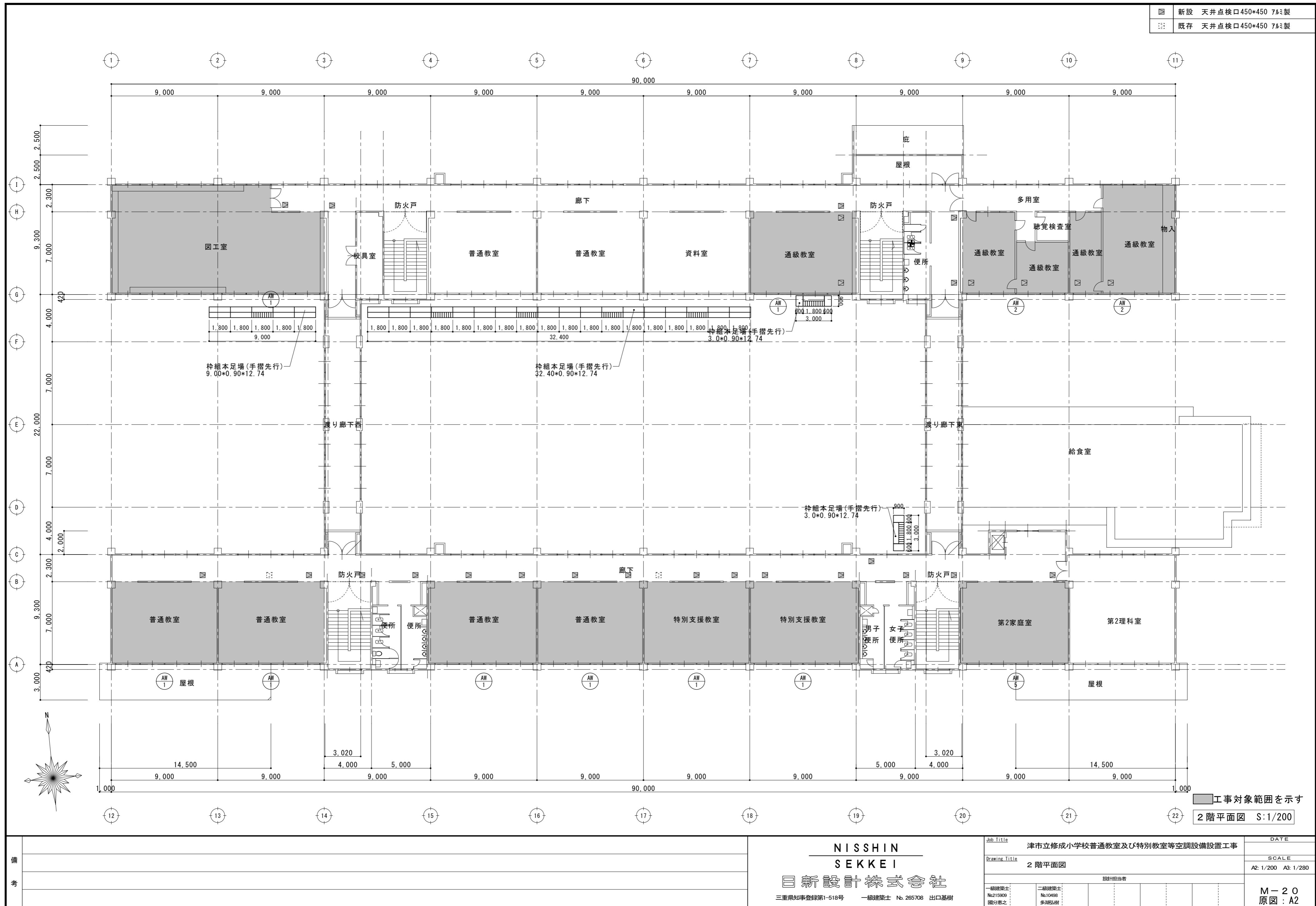
SCALE

A2:1/50 A3:1/70

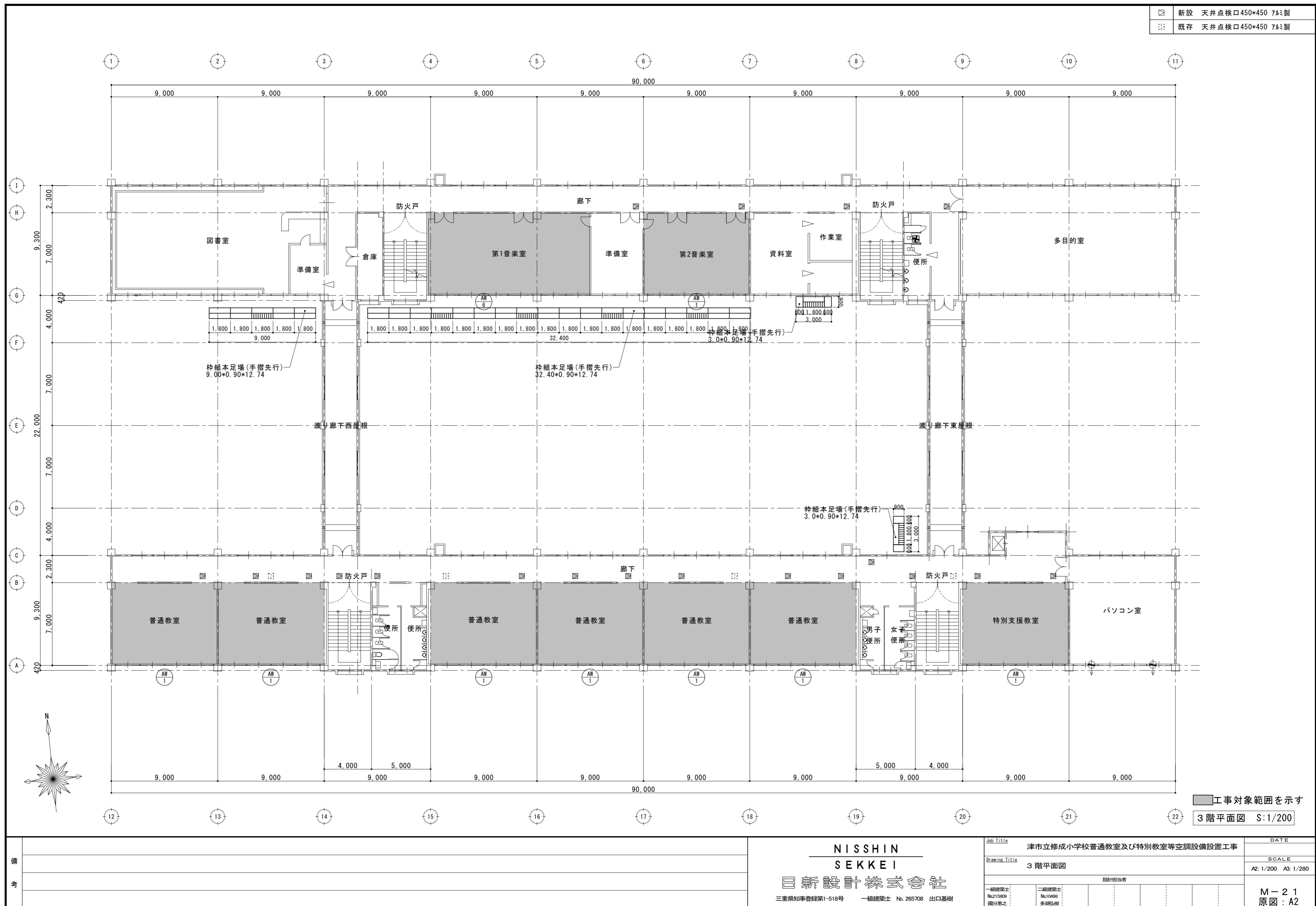








<input checked="" type="checkbox"/>	新設 天井点検口 450*450 7枚製
<input type="checkbox"/>	既存 天井点検口 450*450 7枚製

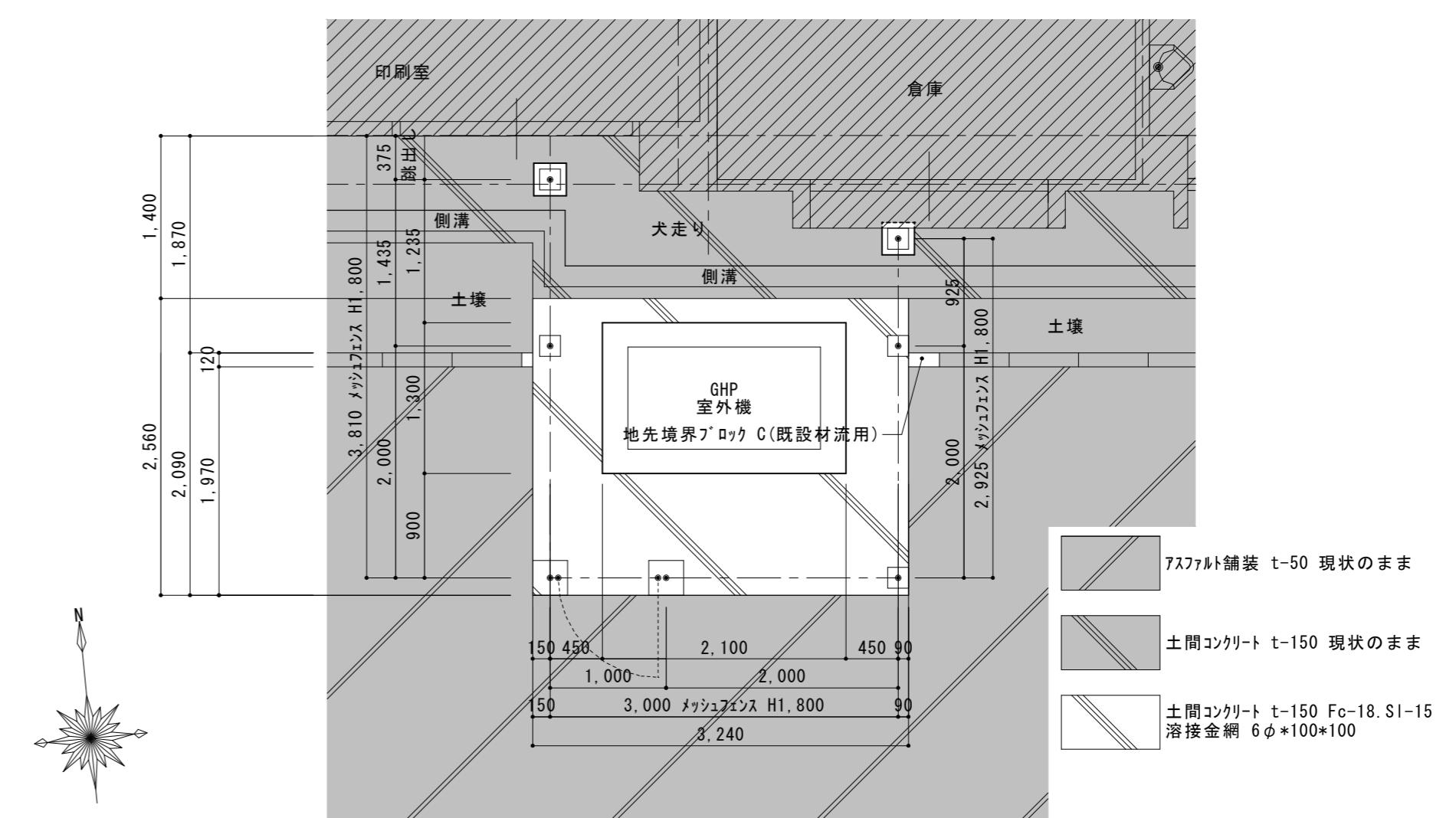
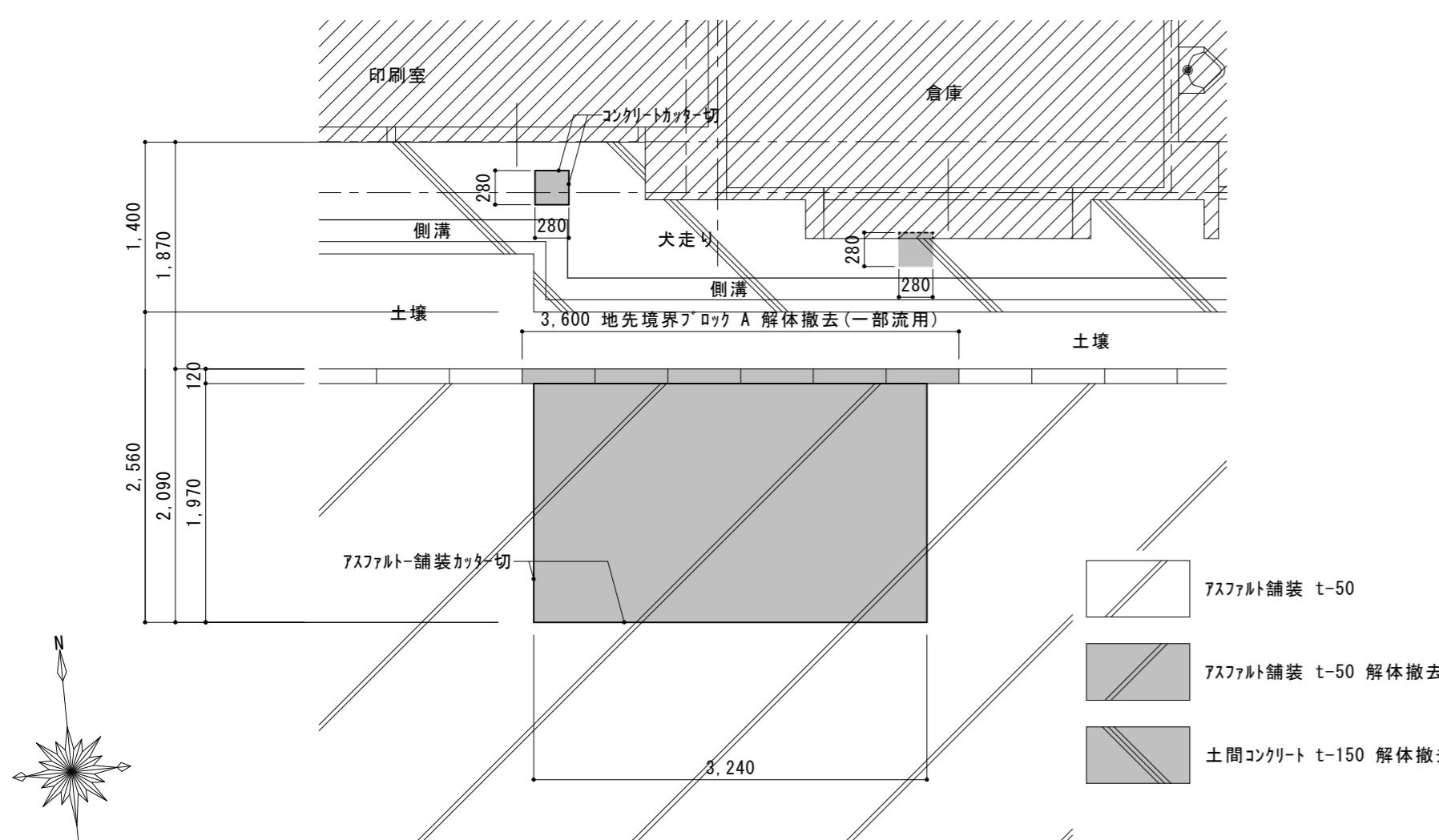


		改修前		改修後		改修前		改修後	
記号	数量	(AW 1)	19ヶ所	(AW 1)	19ヶ所	(AW 2)	2ヶ所	(AW 2)	2ヶ所
姿図 (内観図)									
場所		特別教室棟2階:通級教室、3階:第2音楽室 普通教室棟2,3階:普通教室及び特別支援教室		特別教室棟2階:通級教室、3階:第2音楽室 普通教室棟2,3階:普通教室及び特別支援教室		特別教室棟2階:通級教室		特別教室棟2階:通級教室	
内法見込		8,210 * 1,900	70	8,210 * 1,900	70	8,210 * 1,900	70	8,210 * 1,900	70
形式材質		4連引違ラミ付引違窓		4連引違ラミ付引違窓		4連引違ラミ付引違窓		4連引違ラミ付引違窓	
付属金物		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	
硝子塗装		フロート板ガラスFL3	アルミカラー	一部アルミ複合ハーフt3、学校用強化ガラスFL4に取替え	アルミカラー	フロート板ガラスFL3	アルミカラー	一部アルミ複合ハーフt3、学校用強化ガラスFL4に取替え	アルミカラー
備考				改修部分 障子ストッパー新設				改修部分 障子ストッパー新設	
記号	数量	(AW 3)	1ヶ所	(AW 3)	1ヶ所	(AW 4)	1ヶ所	(AW 4)	1ヶ所
姿図 (内観図)									
場所		特別教室棟1階:第一理科室		特別教室棟1階:第一理科室		給食室		給食室	
内法見込		8,210 * 1,900	70	8,210 * 1,900	70	1,600 * 2,115	70	1,600 * 2,115	70
形式材質		4連引違ラミ付引違窓		4連引違ラミ付引違窓		引違ラミ付引違窓		引違ラミ付引違窓	
付属金物		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	
硝子塗装		フロート板ガラスFL3	アルミカラー	一部アルミ複合ハーフt3、学校用強化ガラスFL4に取替え	アルミカラー	フロート板ガラスFL3	アルミカラー	一部アルミ複合ハーフt3、学校用強化ガラスFL4に取替え	アルミカラー
備考				改修部分 障子ストッパー新設				改修部分 障子ストッパー新設	
記号	数量	(AW 5)	1ヶ所	(AW 5)	1ヶ所	(AW 6)	1ヶ所	(AW 6)	1ヶ所
姿図 (内観図)									
場所		普通教室棟2階:第2家庭科室		普通教室棟2階:第2家庭科室		特別教室棟3階:第1音楽室		特別教室棟3階:第1音楽室	
内法見込		8,210 * 1,900	70	8,210 * 1,900	70	8,210 * 1,900	70	8,210 * 1,900	70
形式材質		4連引違ラミ付引違窓		4連引違ラミ付引違窓		4連引違ラミ付引違窓		4連引違ラミ付引違窓	
付属金物		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	
硝子塗装		フロート板ガラスFL3	アルミカラー	一部アルミ複合ハーフt3、学校用強化ガラスFL4に取替え	アルミカラー	フロート板ガラスFL3	アルミカラー	一部アルミ複合ハーフt3、学校用強化ガラスFL4に取替え	アルミカラー
備考				改修部分 障子ストッパー新設				改修部分 障子ストッパー新設	
備考									

改修前 機械入へ。-ス廻り平面詳細図

1/50 | 改修後 機械スペース廻り詳細図

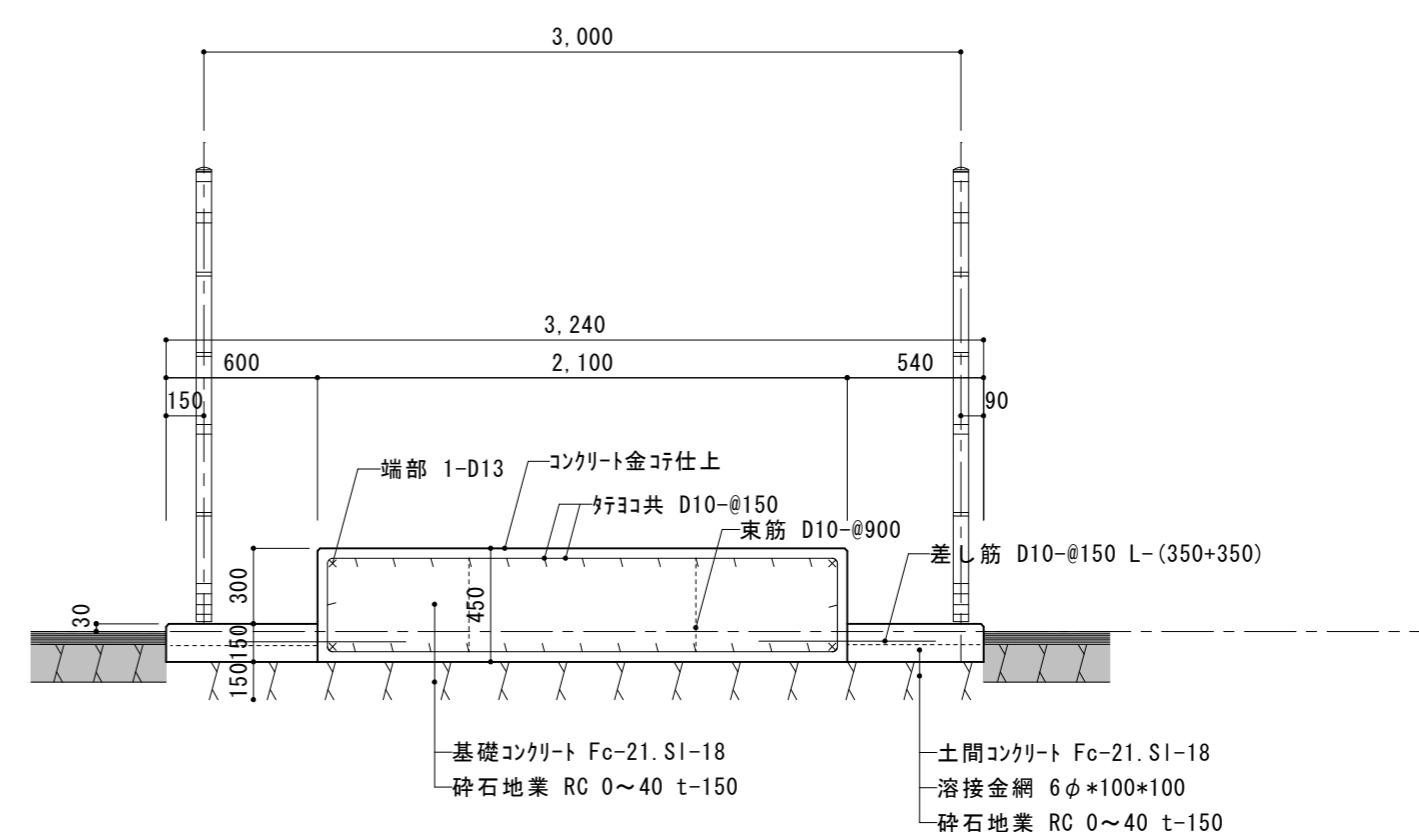
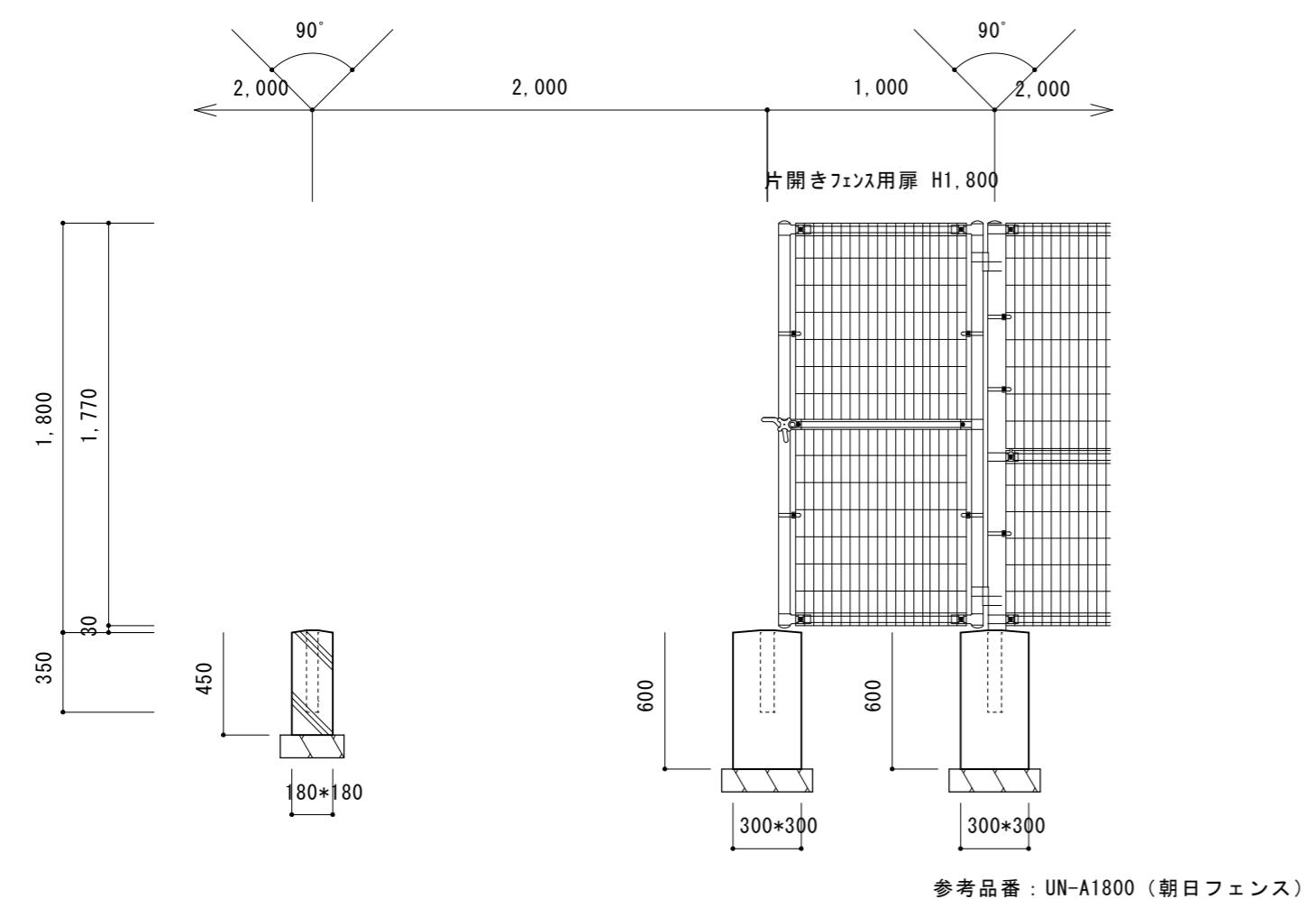
1 / 50



メッシュフェンスH-1, 800 詳細図

1/50 A-A' 斷面詳細図

1/50



備考

NISSHIN
SEKKEI
新設計株式会社

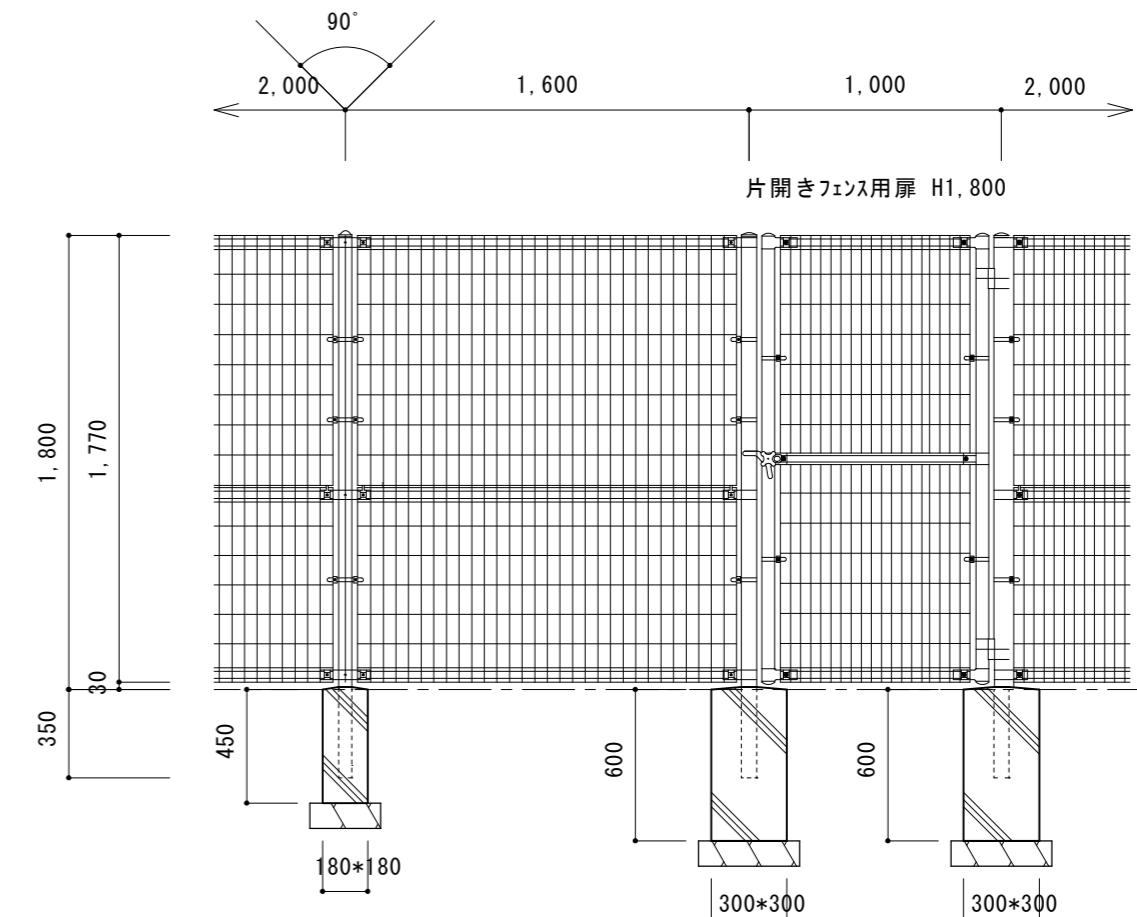
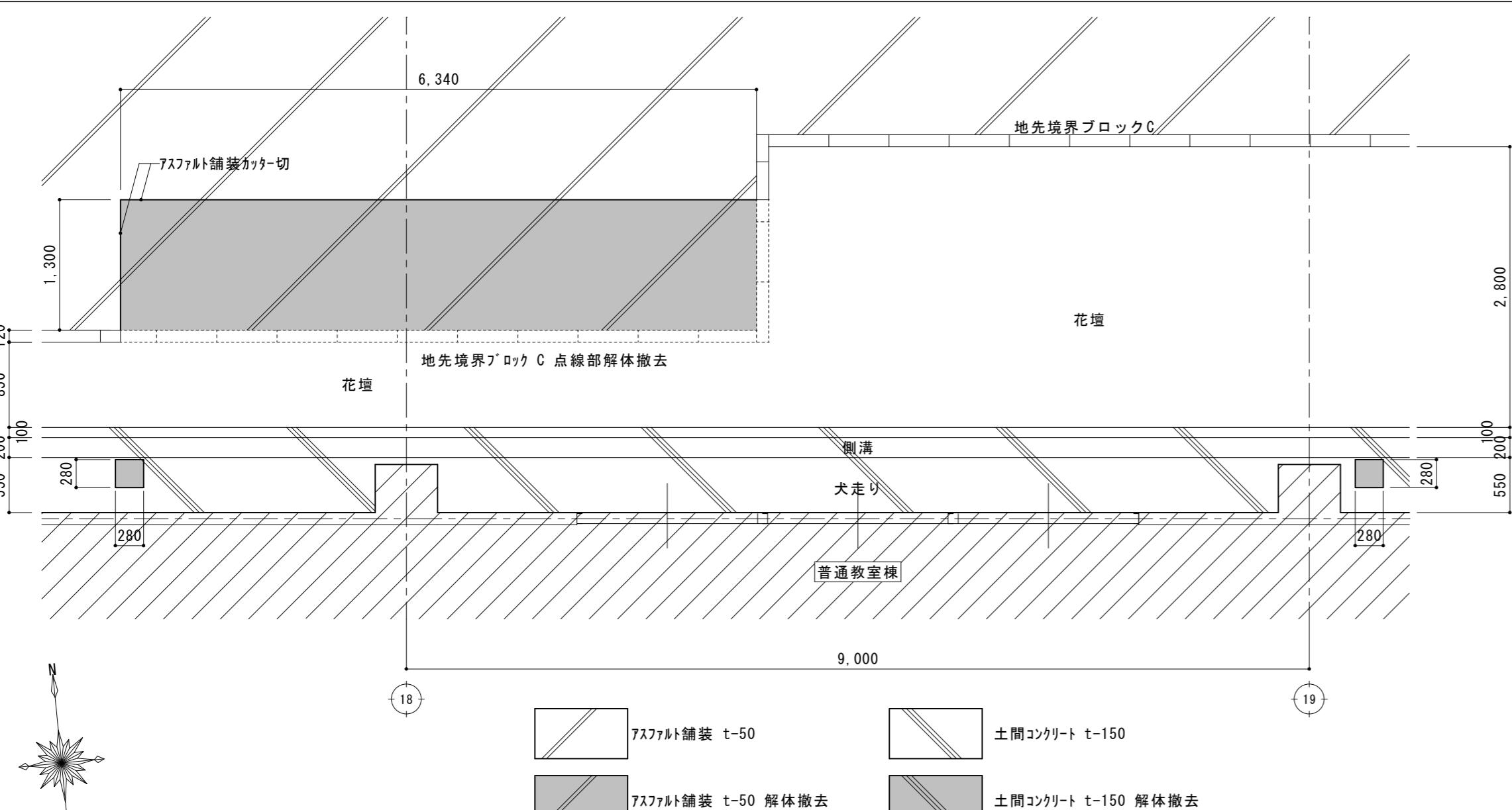
Job Title	津市立修成小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事						
Drawing Title	機械入部図 詳細図01						
設計担当者							
一級建築士		二級建築士					
No.215909		No.10498					
國分恵之		多胡弘樹					

DATE
SCALE
A2: 1/50 A3: 1/70

改修前 機械スベース廻り平面詳細図

1/50 メッシュフェンスH-1,800 詳細図

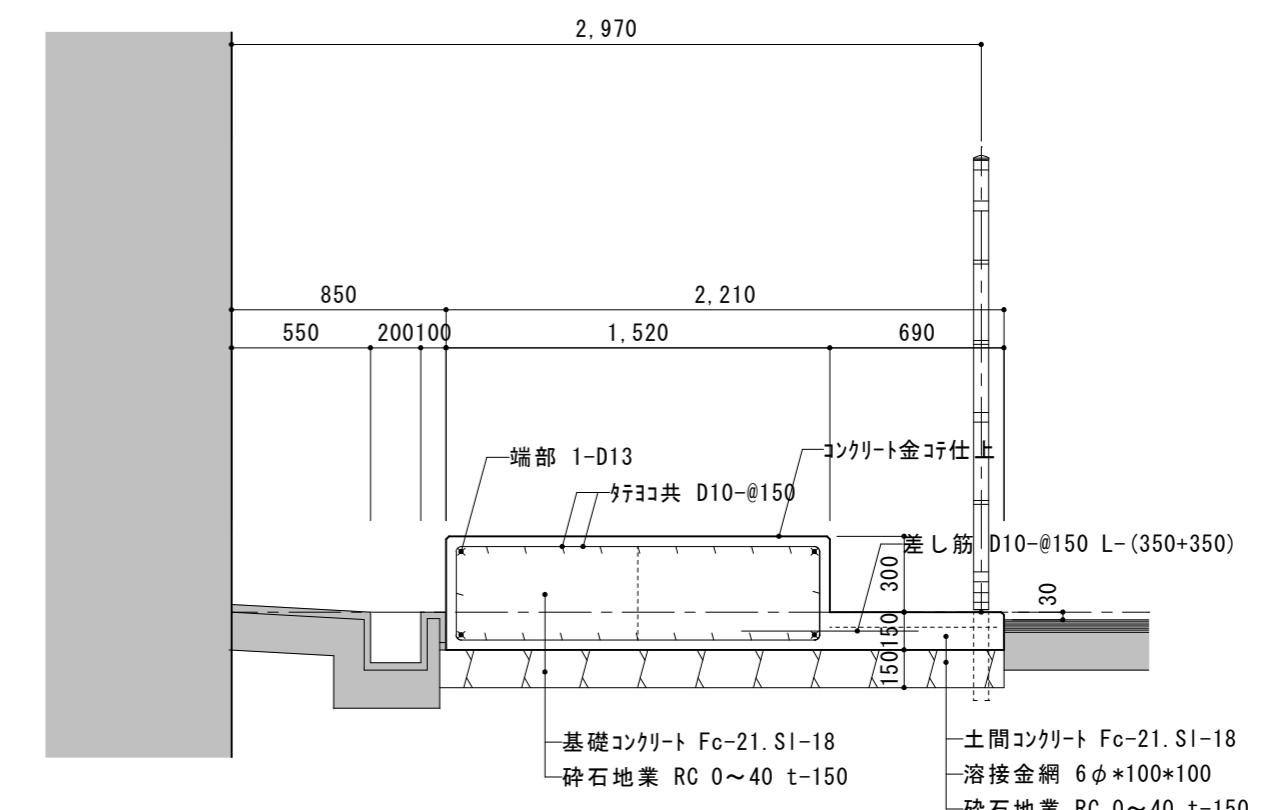
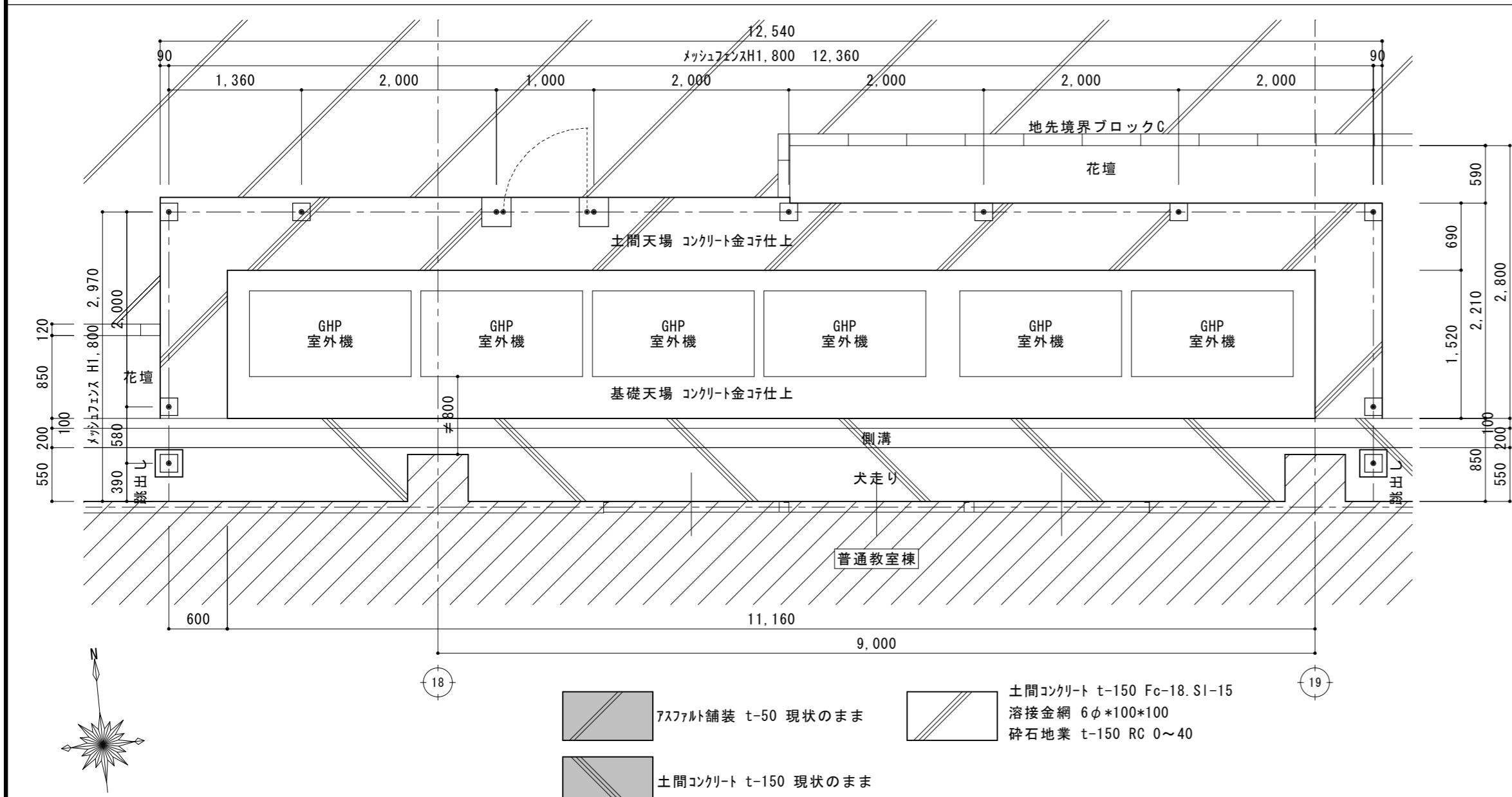
1/30



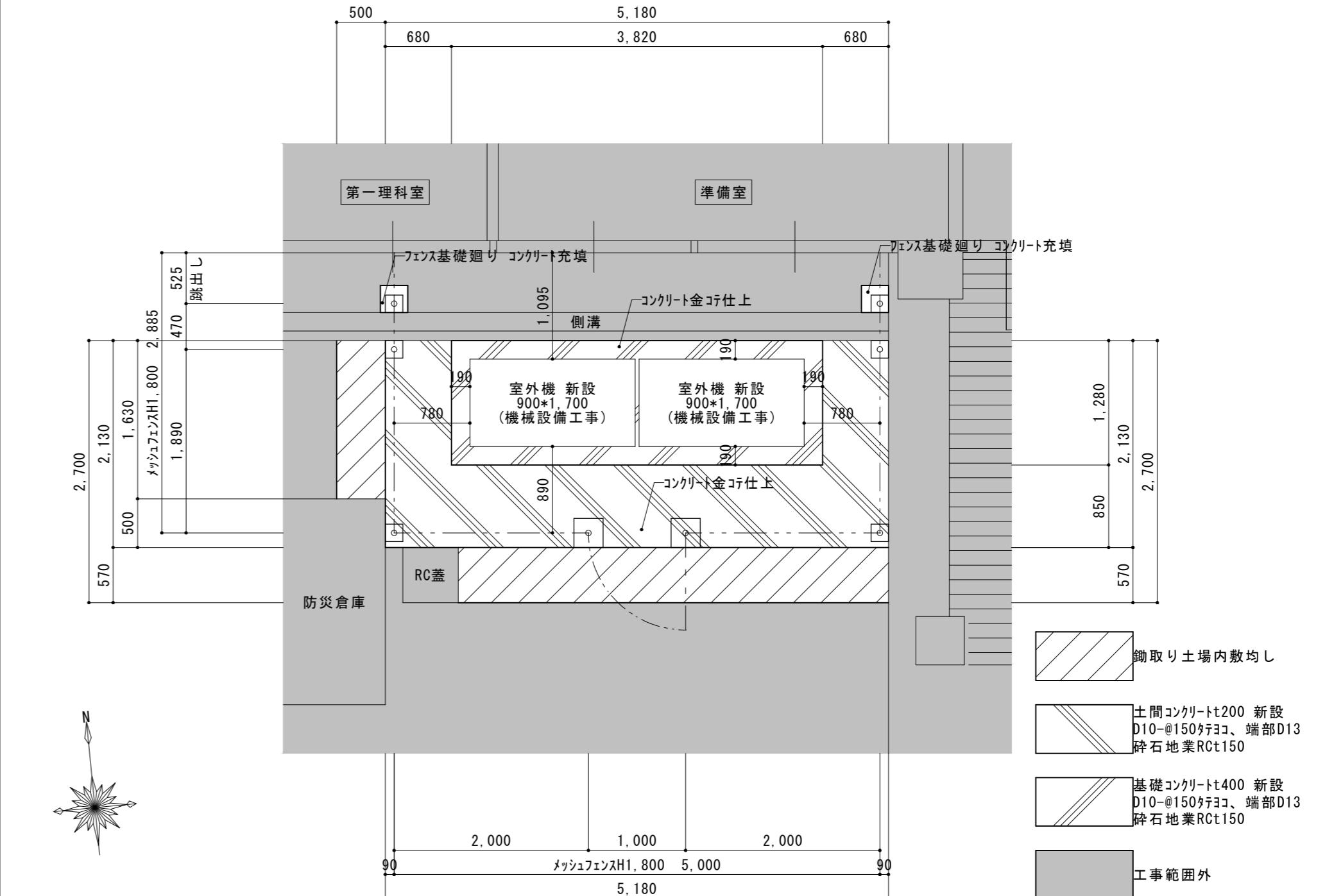
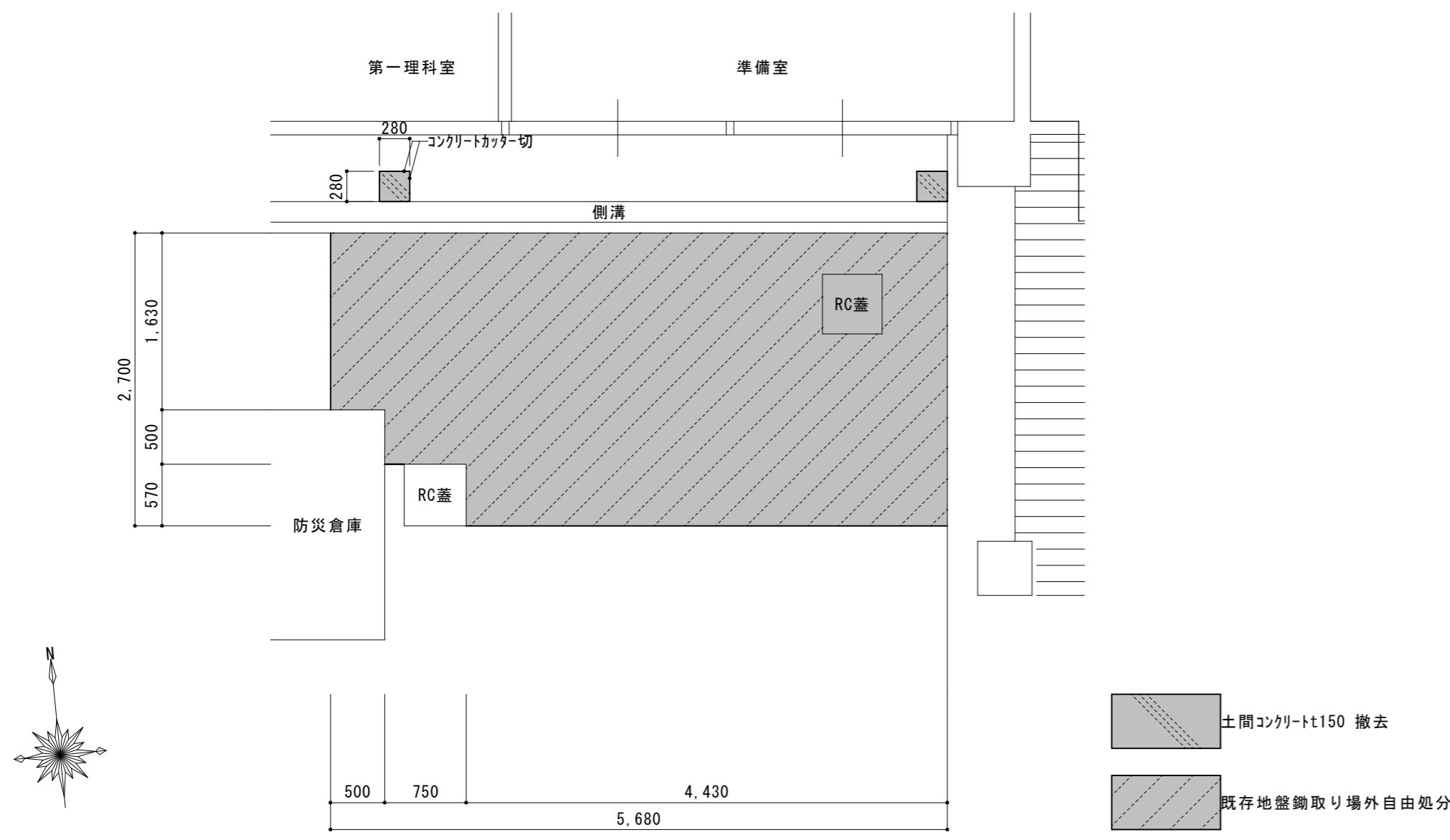
改修後 機械スベース廻り詳細図

1/50 断面詳細図

1/30

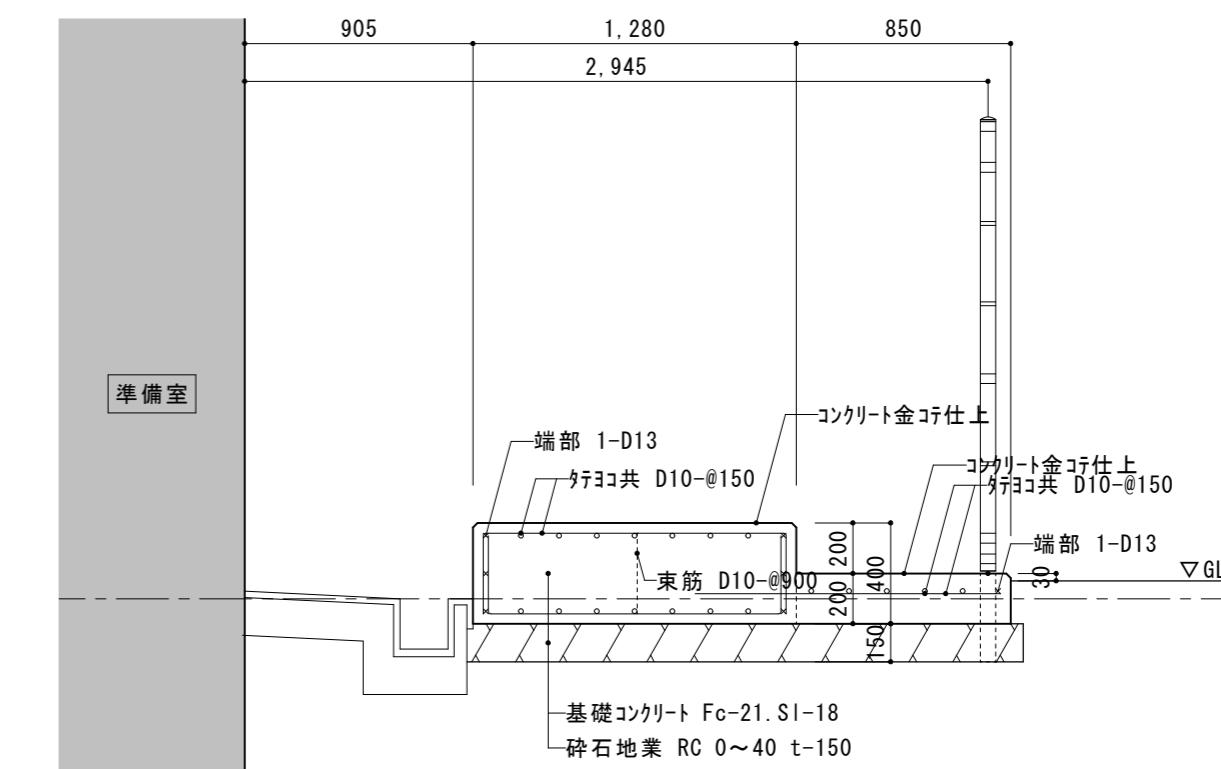
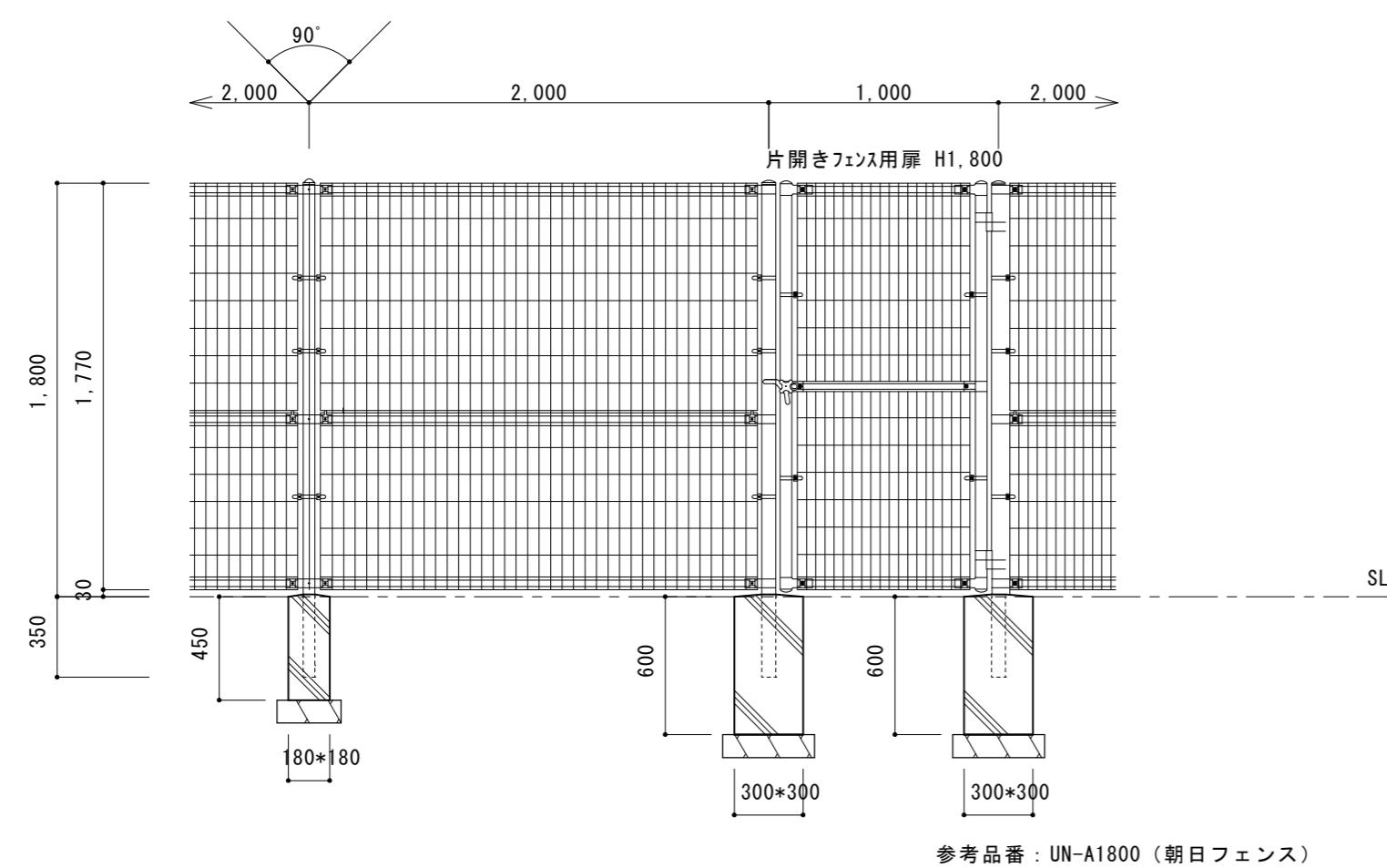


備考



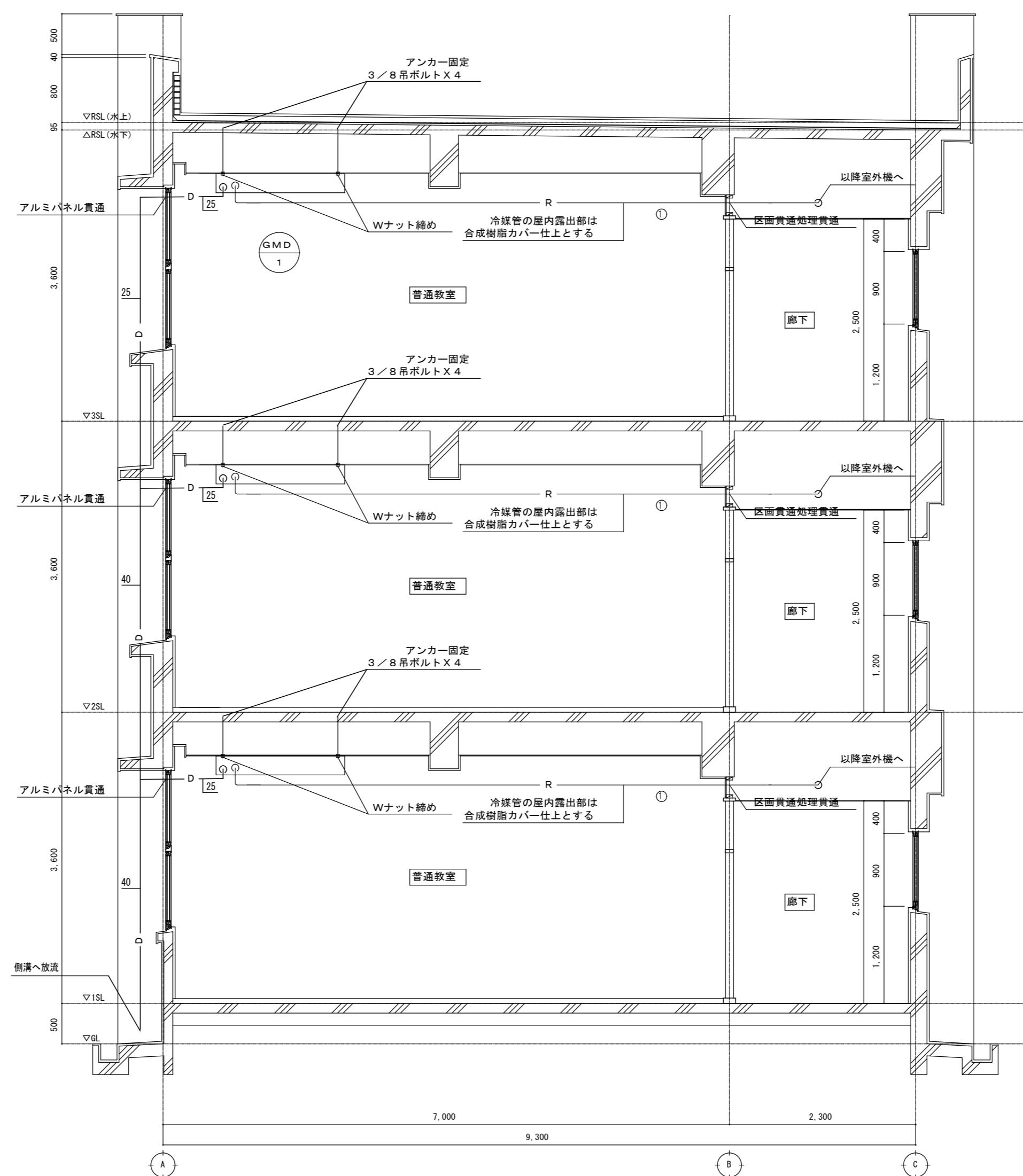
メッシュフェンスH-1,800 詳細図

1/30 断面詳細図



冷媒配管リスト		
	液 管	ガス 管
①	9.5φ	15.9φ

渡り配線 VVF2.0SQ-3C 冷媒共巻



備 考	内装仕上材及び下地材の加工部分以外は現状のまます。

電気設備工事特記仕様書					
I. 工事概要					
1. 工事名称 津市立修成小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事					
2. 工事場所 津市 修成町 地内					
3. 建物概要					
建物概要	構造	階数	延べ面積 (m ²)	用途区分	
校舎				消防法施行令別表第一	
計					
(延べ面積は建築基準法による表記)					
4. 工事種目					
工事場所					
工事種目	校舎			屋外	
電力設備	電灯設備	○			
	動力設備	○			
	雷保護設備				
	接地設備				
	受電設備	○			
電力	直流電源設備				
貯蔵設備	交流無停電源設備				
	電力平準化用蓄電設備				
	分散電源計・バッテリシステム				
発電設備	ディーゼル発電設備				
	ガスエンジン発電設備				
	ガスタービン発電設備				
	太陽光発電設備				
	風力発電設備				
	その他発電設備				
通信情報設備	構内情報通信網設備				
	構内交換設備				
	情報表示設備				
	映像・音響設備				
	括弧設備				
	誘導支援設備				
	テレビ共同受信設備				
	テレビ電波障害防除設備				
	監視カメラ設備				
	駐車場監視設備				
	防犯・入退室管理設備				
	自動火災報知設備	○			
	自動閉鎖設備				
	非常警報設備				
	ガス漏れ火警報設備				
中央監視制御設備					
医療関係設備					
構内配電線路			○		
構内通信線路					
その他					

II. 共通仕様					
1. 通用					
図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。(最新のものを適用)					
・国土交通省大臣官房常務監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)					
・国土交通省大臣官房官房常務監修「公共建築工事標準仕様書」(電気設備工事編・機械設備工事編)					
・国土交通省大臣官房官房常務監修「公共建築工事標準仕様書」(機械設備工事編)					
・国土交通省大臣官房官房常務監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)					
・電気設備に関する法規基準を認める省令(電気設備技術基準)					
・電気工事の業務の正確化に関する法律					
・電気工事士法					
・労働安全衛生法					
・消防法(建築物の耐火規格・火災報知設備等)					
・電力会社供給契約					
・その他関連法令・関連諸基準					
2. 一般共通事項					
下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。					
項目	特記事項				
1. 一般事項					
(1) 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指⽰の下に入念かつ慎重に施工すること。					
(2) 設計図面に定められた内容、現場の納まり、取扱い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載誤り等に起因する問題点及び改善、設計図面のおりに施工することで将来不具合が発生しうる予測される場合は、監督員に報告すること。					
(3) 施工と同時に行なうものには、施工外に施設して、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関連法令に従い適正に施工し、監督員に報告すること。(マニフェストA、B、Cを表示すること)					
22. 官公署への手続き					
工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を遅延なく行う。					
なお、当該手続きに係る費用は受注者に負担する。 ・消音設備関係 ・電気工作物関係 ・受電関係 ・通信関係 ・建設工事関係					
23. 消防法関係の手続き					
(1) 消火器に係る消防設備等設置届出書の作成 ・本工事 (建築工事・電気設備工事・機械設備工事) ・別途工事					
(2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。					
24. 工事用仮設物	構内への設置 ・できる(施設管理者と協議) ・できない				
25. 工事用電力、水、その他	機械設備工事に準ずる。				
26. 工事中の保安管理	新規、増設等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等にかかる費用は工事着手に含まない。				
27. 搬入計画	大型機器、重量物等の搬入計画 (扉、天井高さ、搬入経路の有効寸法 (扉、天井高さ、搬入経路の曲がり等)、障害物 (足場等)、搬入方法、運送車両、搬入機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等)を記載し監督員に提出すること。				
28. 製品確認	業者及び受注者との協議により仕様を決定し、製作するような規格品及び監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。				
29. 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、設計図面によるほか、監督員の指示による。				
30. 完成確認及び完成検査等の電源確保	機器の動作確認、電圧、極性、相回転等確認できるように電源を確保すること。				
31. 完成時の操作説明	タイム、合組盤、動力盤等操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。				
32. 不正軽油の使用の禁止	また、必要な機器に於ける操作説明書、操作注意事項書を作成し、機器に備えるものとする。				
33. その他	市工事の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用される車両(資機材の搬出入車両を含む)。並びに建設機械等の燃料として不正軽油(地税法第14条の32(製造者の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料等)を用いることを禁ずるものとする。 ※注記は、市工事で使用する燃料等に問題がある場合は、その調査に協力しなければならない。 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。 また、工事開始中の電気工作物の保管業者も行う。 設計図面に定められていない事項は監督員に報告し、指示を受けるものとする。				

21. 発生材の処理等					
(1) 引き渡しを要するもの					
・上記以外の発生材を要するものについては別途、監督員が指示する。					
(2) 特別管理産業廃棄物					
・変圧器 ○・コンデンサ					
・その他の()					
・現場の監督員の指定する場所に保管するものとする。					
・なるべく廃棄するものとし、B等特別管理産業廃棄物及び疑わしき機器等を見発した場合は、監督員に報告し対応場所とするものとする。					
(3) 現場に於けるもの					
・発生土					
・その土()					
(4) 再資源化を図るもの					
・コングリート・アスファルトコンクリート塊、建設生木材					
(5) 発生する引き渡しを要するものには、現場生品證書を提出すること。					
・現場生品證書を作成し、監督員へ提出すること。					
(6) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関連法令に従い適正に施工し、監督員に報告すること。(マニフェストA、B、Cを表示すること)					

2. 施工仕様					
下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。					
項目	特記事項				
1. 既設設備等の調査	既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着手前に充分な調査を行うこと。				
(1) 地中管路					
① 項 目 ●埋設配管 ・構造物 ・その他()					
② 調査範囲 ●理設ルート ・その他()					
(2) 電気及びガス					
① 項 目 ●鉄筋 ●配管 ・その他()					
② 調査範囲 ●施工部分 ・その他()					
(3) 既設との取合い					
① 項 目 ●接続箇所 ・増設箇所 ・その他()					
② 調査範囲 ●施工部分 ・その他()					
2. 施工の測定等	改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に行い、監督員に報告すること。				
3. 耐震施工	(1) 想定される地震に対応するものとする。 (2) 耐震計算書を監督員に提出するものとする。				
4. 耐震基準	(1) 通用 耐震性能の計算及び施工法は、最新版の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(建設大臣官房官庁常務監修)及び「建築設備設置設計・施工指針」(独立行政法人建築研究所監修)による。 (2) 設計用水平地震力 機器の重量に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記き場合、設計用水平震度は次による。 設計用標準水平震度(Ks)				
設置場所 機器種別					
耐震安全性の分類					
設置場所	機器種別	特定の施設			一般の施設
上層階、屋上及び塔屋		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
機器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	
防振支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5	
水槽類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0	
中間階	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	
機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0	
防振支持の機器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	
水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	
1階及び地下階	機器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
防振支持の機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6	
水槽類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6	
5. はつり	(1) 穴開け及び補修 ・なし ●あり (2) 溝はつり及び補修 ・なし ●あり				
6. あと施工アンカー	性能確認試験及び施工確認試験 ・行う ・行わない				
7. 基礎の配線ビット	基礎に配線ビットを設ける場合、ピットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、枚数、将来増設時の作業性、事時の対応排水等に配慮する。				
8. 配管・耐震処置	建物引込部の配管の震度処置 建物のエキスパンションジョイント部の配線の震度処置				
9. 最上階の埋込配管	最上階のコンクリート屋根板ラブの埋込配管は、原則として行わない。				
10. 露出配管	(1) 雨漏外のある場所に設置する場合は、U字配管を行わない。 (2) 壁面配管で人目に容易に触れるおそれのある部分(2.5m以下)の配管には、突起のない支持金具又は保護カバーを使用する。 (3) 通路部分では床面管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。 (4) 監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。				
11. 合成樹脂管	(1) 合成樹脂管の管端には、ブッキングを取り付ける。 (2) 原則として屋外の露出には使用しない。				
12. 金属製電線管等の塗装	性能確認試験及び施工確認試験 ・行う ・行わない				
13. 導入線	建物引込部の配管の震度処置				
14. ポックスタイプ	壁面に直接配線する場合は、壁面に直接配線する。 壁面に直接配線する場合は、壁面に直接配線する。				
15. 軽量間仕切のボックス	軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅牢に固定する。				
16. ブルボックス	(1) 屋外形及び特別に製作された特殊形状又は大きいもの(一辺が6.0m以上のもの)は、製作図を提出すること。 (2) 2面外壁にブルボックスと露地配管等の接続部は、カッティング溶接等による。ただし、既設ブルボックスに接続する場合は防ひいてメッシュでシーリングを行なう。 (3) 屋外形ブルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。				
17. ポルト・ナット類	屋外に使用する支持金具及びポルト、ナット類で特記のないもの ●ステンレス ・溶融亜鉛メキシ仕上げ				
18. ケーブル及び配線	(1) 表示 下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示(ケーブル種別及びサイズ、行き先、用途等を表示。)を取り付ける。 ① 部分岐部分 ② フルボックス ③ マンホール及びハンドホールごと				
19. 高圧ケーブル端末処理	(2) ケーブルの長さ ① 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル長さを見込む箇所数 2箇所 ・ 4箇所 ・ () 箇所 ② 架空線式の場合、電柱上でケーブル長さを見込む箇所数 2箇所 ・ 4箇所 ・ () 箇所				

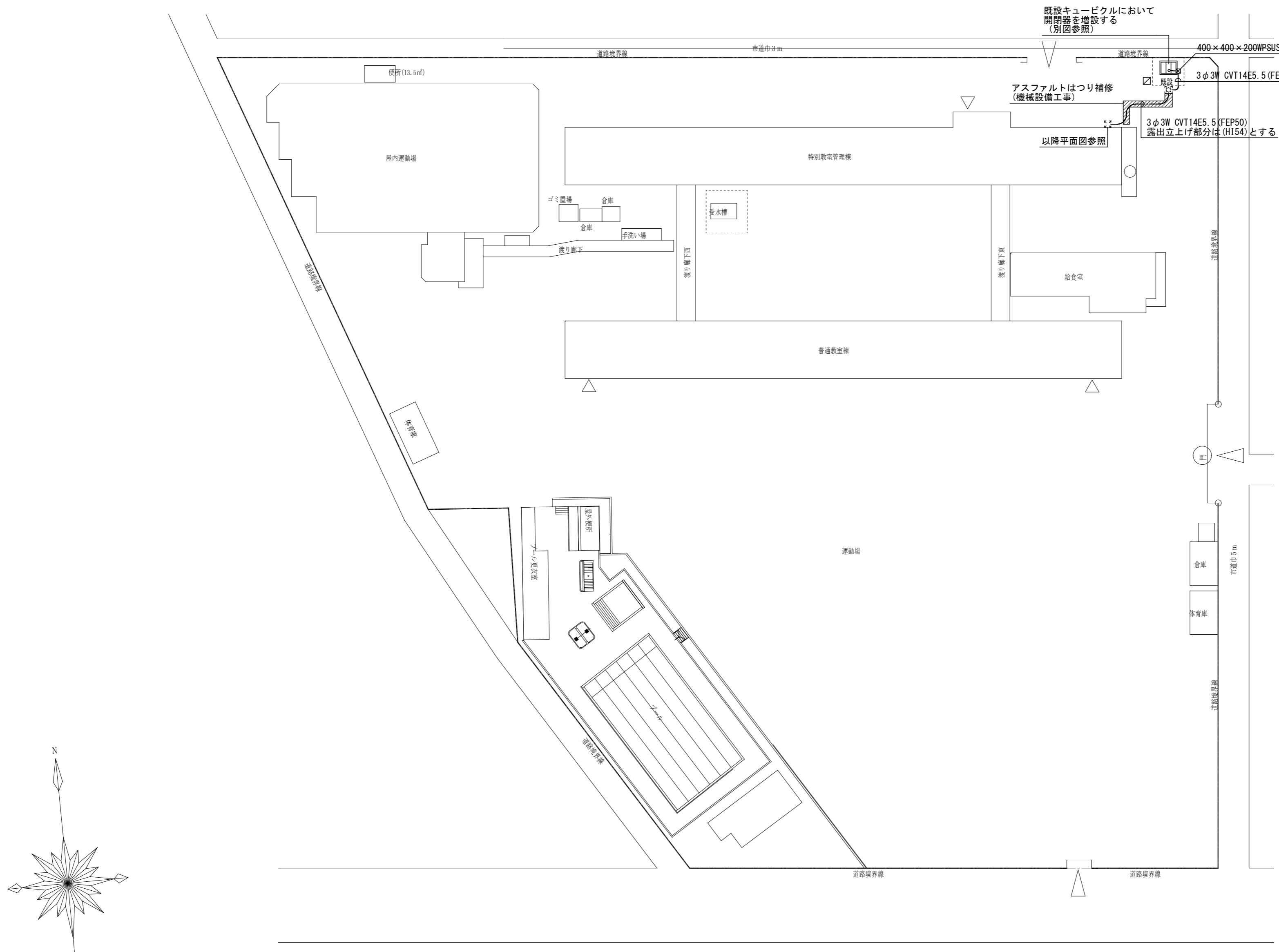
20. 配線器具の設置	(1)特殊コンセントはプラグ付とする。 (2)電源の種類により色を区別する。 (3)配線器具を取り外せる場合が金属の場合は、絶縁材を使用する。 (4)プレートは、原則として新金属製とする。 (5)カバーフレームは、原則として新金属製とする。 なお、器具を実施しない位置ボックスには用途表示をすること。 (6)フロアフレームは、木や高密度合板(空気の止り口付)とする。
21. 照明器具の設置	(1)コードランプ以外の蛍光灯及び水銀のあれる場所の器具は地極する。なお、金属配管の場合は、配管を利用してもよい。 (2)接地線は電灯器具と同一大きさのケーブルの芯(緑色)を使用する。ただし、監督員の指示により1.6mm ² の絶縁電線(緑線)を添えることができる。 (3)照明器具を設置する前に、照度分布図を作成し監督員の承認を得ること。 (4)照明器具は、設置後、照度分布図は一般形Aと被さる。 (5)天井下吊材より吊るす場合は、ワイヤーにより吊り落成の措置を行う。 (6)ハイブリッドの照明器具は接続止めを施工する。
22. 照明改修の際の測定	対象室の改修前の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。 測定回数()回
23. 分電盤、制御盤、キューピール等	(1)画面九九ダイー内には、充電及び回路の行き先がわかる画面を備える。 また、電源分電盤、電源装置を備えた場合は、充電器を設置するものとする。 (2)屋外キューピールで露設ボックスに接続する場合は、ナップランプを接続等を行い接続部から雨水等が浸入しないようとする。
24. 受電変電設備、発電設備の設置場所	(1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。 (2)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。 (3)電気室には水槽、蒸気室、ガス槽、ダクト等を通さない。
25. 発電設備の燃料配管	(1)フレンジペーリングの取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。 (2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。
26. 電波関係の計算及び測定	(1)計算書の提出 電界強度測定結果により計算書を提出 ・施工前・施工中・施工後 (2)測定の実施 1) 施工前 ・全受電チャンネルの電界強度、受像面質、等価C/N、ビット誤り率の測定及び映像写真的撮影を行う。 2) 施工前 ・施工前・躯体上り時・施工後・その他() 3) 報告書提出部数 ・2部()部
27. 土工	(1)埋戻しの材料及び工法 ・土壌(材料:根切り土の中の良質土 / 工法:機器による練固め) ・その他の埋戻し材料は山砂とする。 (2)特記すべき地中埋設配管の深さは、G.L-600mm以上とする。 (3)根差しの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受電設備及び自家発電装置の基礎等は絶縁し、埋設管路等は山砂振り、外灯基礎、電柱等はつぼ埋りとする。 (4)機械掘削は根差し底を乱さないようにする。
28. ハンドホール、マンホール	1)地中軌道及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。 2)地耐力 ①地耐力は、建築基準法施行令第93条の短期応力度とする。 3)高さ900mmを超えるものにあっては、ラップ付とする。 なお、ラップの取付は450mm間隔以内とし、原則として接地を施すこと。
29. 地中配線路の表示杭	下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。 ①建物への引込口及び送出口附近 ②マンホール・ハンドホール付近 ③地中線路の曲折箇所 ④道路横断箇所 ⑤直線部分では30cm程度に1個
30. 機器仕様	3. 機器仕様 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳しく述べては、図面による。
31. 断路器	1) 形式 ・3極単投 ・単極単投(避雷器用に限る) 2) 操作方式 ・遠方手動操作 ・フック棒操作(避雷器用に限る)
32. 負荷開閉器	1) 形式 ・配電盤用 ・引込柱用 ・地中引込用 2) 配電盤用 ①搭載方式 ・ラック式 ・ラック式 ②固定化 ・有(ストライカ付) ・無 3) 引込柱用 ①本体及び制御箱の材質 ・ステンレス製 ・銅製 ②保護装置 ・過電流保護トリップ付地絡方向继電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ③避雷器 ・内蔵 ・無 4) 地中引込用 保護装置は、過電流保護トリップ付地絡方向继電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする
33. 変圧器	1) 形式 ・油入 ・モールド ・ガス入 2) 設置方式 ・屋外型 ・屋内型 3) ダイヤル温度計 ・有(最大指針有) ・無 油入300VA以上、モールド150kVA以上の場合は必須とする
34. 進相コンデンサ	1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド 2) 容量 ・6% ・13% 3) その他 内部異常を感知して動作する警報接点を設けること
35. 直列アクトル(進相コンデンサ用)	1) 絶縁方式 ・油入 ・モールド 2) 容量 ・6% 3) その他 内部異常を感知して動作する警報接点を設けること
36. 設備不平衡	高圧受電の三相3線式における不平衡の制限は、設備不平率が3.0%以下となるようになる。
37. キューピール等	1) 銀板式: 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 固定式: A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプ式スイッチを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用端子は接線のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用端子端子は盤内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用断路器の定格電流は、予備を含めた負荷電流上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。
38. 外灯(単独設置)	1) 照明用ボール ①材質 ・アルミニウム製 ・銅製 ・溶融亜鉛メッキ ・その他() 2) 基礎 ・単純 ・別途基盤 既設利用 ・その他() 3) 灯具 ・水銀灯 ・ナトリウムランプ ・LED灯 4) 安定器 ・一般形高圧電球(BH) ・低始動電球形 ・その他() 5) 電源 ・商用電源(60Hz) ・太陽電池式 ・風車式
39. 基礎	・本工事() ・1.8N/mm ² ・別途工事 ・既設利用 ・その他()
40. 配ビット及び蓋	1) 施工 ・本工事 ・別途工事 既設利用 ・その他() 2) ビット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。
41. 設置場所	・屋内 ・屋外() ・地上 ・屋上
42. 電力貯蔵設備	6. 直流電源設備 1) 用途 ・常用照明器具電源 ・受電設備制御電源 ・その他()
43. 容量	() kVA
44. 整流装置	1) 出力電圧 ・直流() ・2.4V ・4.8V ・() 2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流並びに監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。
45. 蓄電池	1) 種類 ・船用蓄電池() ・MS-E ・長寿命形MS-E ・アカカリ蓄電池() ・AH ・AMH 2) 最低蓄電池温度 ・5°C ・15°C ・25°C ・-5°C ・() °C
46. 交流無停電電源設備	7. 交流無停電電源設備 1) 用途 ・() 2) 容量 ・() kVA 3) 給電方式 ・常時インバータ給電方式 ・ラインインタクティブ方式 ・常時専用給電方式 ・その他()
47. 動力設備	4) 整流装置等 整流装置、インバータ装置は、接続する負荷の特性を配慮して選定する。
48. 負荷設備	5) 蓄電池 1) 種類 ・船用蓄電池() ・MS-E ・長寿命形MS-E ・アカカリ蓄電池() ・AH ・AMH 2) 最低蓄電池温度 ・5°C ・15°C ・25°C ・-5°C ・() °C
49. 負荷設備への接続	6) 性能 停電補償時間()
50. 電動機等の接地	7. 交流無停電電源設備 1) 用途 ・() 2) 容量 ・() kVA 3) 給電方式 ・常時インバータ給電方式 ・ラインインタクティブ方式 ・常時専用給電方式 ・その他()
51. 電動機等の力率の改善	4) 整流装置等 整流装置、インバータ装置は、接続する負荷の特性を配慮して選定する。
52. 保護継電器	5) 計測表示 遠方監視用接点・設計ない・設計する(詳細は別図による) 6) 状態・警報表示 移報用の遠方監視用接点の接続を必須とする。
53. 分電盤、制御盤等	9. 分散電源 IMR-マジックシステム
54. 雷保護設備	【発電設備】 10. 燃料発電設備 1) 用途 ・防災電源専用(防災認定品) ・防災電源兼用(防災認定品) ・一般用 2) 区分 ・常用 ・非常用
55. 避雷針	1) 受電部 ・突針 ・棟上導体 ・笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ・引下線導線 ・建築構造体利用 3) 接地極 ・接地極埋設 ・建築構造体利用 4) 接地抵抗の測定 ・測定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 5) 計測表示 ・測定回数 ・3回 6) 状態・警報表示 仕様詳細は別図による。
56. 雷サージ保護	1) 耐雷ランプ ・設置() ・単相用 ・動力用 ・設置しない 2) SPD ・低圧用() ・クラスI ・クラスII 3) 低圧用SPDクラスIの性能 別図による 4) 通信用SPDクラスIの性能 別図による
57. 電源回路の保護	1) 低圧用P.D.Iに適用する回路用断路器は警報接点付とする。 2) 主幹回路の2次側に設ける回路用断路器は、定格遮断容量は、5kA以上とする。
58. 通信回線の保護	3) 通信用回線 回線回路、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。
59. 接地設備	4. 接地設備 (1) 接地工事 1) 種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 2) 施工 ・各種単独 ・共用有り()
60. 接地抵抗の測定	1) 测定方法 ・電位差計方式 ・電圧降下法 2) 测定回数 ・3回 3) 接地極埋設機器 接地には接地極埋設機器を施工し、接地極の位置がわかるようにする。
61. 受電変電設備	5. 受電変電設備 高圧以外の受電変電設備については、本項によらず別図による。
62. 既設との取り合い	6. 既設との取り合い ・無し ・●改造(機器取替、追加等を含む) ・増設 ・配線接続 ・その他()
63. 機器類	7. 機器類 ・交流遮断器 ・断路器 ・避雷器 ・負荷開閉器 ・変圧器 ・進相コンデンサ ・直列アクトル ●配線用遮断器 ・電磁接触器 ・その他()
64. 盤類	8. 直列アクトル 1) 形式 ・キューピール式配電盤(JIS C 4620) ・高圧スイッチギア(JEM 1425) ・C-X ・C-W ・P-W ・M-W
65. 特記事項	2) 中通路 ・有 ・無 3) 特記事項 4) 交流遮断器 ・真空遮断器(VCB) ①操作方式 ②引外し方式 ・手動操作 ・電流引外し ・コンデンサ引外し ・直列電圧引外し
66. 基礎	9. 基礎 ・本工事() ・2.1N/mm ² ・1.8N/mm ² ・別途工事 ・既設利用 ・その他()
67. 太陽光発電設備	11. 太陽光発電設備 (1) 機器 ・太陽電池アレイ ・パワーコンディショナ ・系統連系保護装置 ・接続箱 ・情報処理装置 ・その他()
68. 2. 架台は、JIS C 8955「太陽電池アレイ用支持設計標準」による。	2) 架台 ・三相3線式() ・単相2線式() ・単相2線式() ・100V ・() V
69. 3. 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他()	3) ハーフコンデンサ ヨコ及び系統連系保護装置 ・三相3線式() ・単相2線式() ・100V ・() V
70. 4. 機能 ・系統連系() ・高圧連系() ・みなし低圧連系() ・低圧連系()	4) 出力電気方式 ・三相3線式() ・単相2線式() ・100V ・() V
71. 5. 組立軸 ・自立軸 ・自立軸	5) 組立軸 ・自立軸
72. 6. 組立連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。	6) 組立連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。
73. 7. 設置 ・データ処理装置 ・データ表示装置 ・気温計 ・日射計 ・記録作成 ・日報 ・月報 ・年報	7) 設置 ・データ処理装置 ・データ表示装置 ・気温計 ・日射計 ・記録作成 ・日報 ・月報 ・年報
74. 8. 仕様詳細 仕様詳細は「太陽光発電設備特仕様書」による。	8) 仕様詳細 仕様詳細は「太陽光発電設備特仕様書」による。
75. 12. 風力発電設備	12. 風力発電設備 (1) 機器 ・風車発電装置 ・制御装置 ・系統連系保護装置 ・支持構造物 ・情報処理装置 ・その他()
76. 13. 機器	13. 機器 ・風車発電装置 ・制御装置 ・系統連系保護装置 ・支持構造物 ・情報処理装置 ・その他()
77. 14. 構内情報通信網設備	14. 構内情報通信網設備 (1) インターフェース 1) LAN ・1000BASE-T ・無線LAN ・その他()
78. 15. WAN	2) WAN ・()
79. 16. 機器	3) 機器 ・スイッチ ・ルータ ・メディアコンバータ ・ファイバーオプティカル ・時刻同期装置 各機器の仕様詳細は別図による。
80. 17. ケーブル	4) ケーブル 1) 幾何系 ・UTP ・光ファイバ ・その他() 2) 支線系 ・UTP ・光ファイバ ・その他() 3) フロア系 ・UTP ・その他()
81. 18. アウトレット	5) アウトレット ・ローテーションショットアットレット() ・固定型 ・上下動型(アップ式を含む) ・壁コンセント ・その他()
82. 19. 構内交換設備	15. 構内交換設備 (1) 機器 ・交換装置 ・電話機 ・端子盤類 ・アウトレット ・その他()
83. 20. 交換装置	2) 交換装置 1) 種別 ・構内交換装置() ・デジタルPBX ・IP-PBX ・VoIPサーバ ・ボタン電話装置 ・その他()
84. 21. 局線応答方式	2) 局線応答方式 ・局線中継方式 ・分散中継方式 ・ダイヤルイン方式 ・ダイヤルトーン方式 ・インターフォンダイヤル方式 ・その他()
85. 22. 保安用接地	3) 保安用接地 ・本工事 ・別途工事 既設利用 ・既設利用 ・その他()
86. 23. 本配電盤(MDF)	4) 本配電盤(MDF) ・自立フレーム() ・片面形 ・両面形 ・交換機一体型 ・壁掛型 ・その他()
87. 24. 電源装置	5) 電源装置 1) 形式 ・形 ・別置型 ・一体形 ・その他() 2) 停電補償時間 ・30分以上 ・() 以上
88. 25. 電話機	6) 電話機 ・多機能電話機 ・デジタルコードレス電話機(PHS方式) ・IPコードレス電話機(無線LAN方式) ・その他()
89. 26. 端子盤類	7) 端子盤 1) 端子盤 ・中継端子盤() ・室内端子盤 2) 中継端子盤に実装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子盤スペースを見込む。
90. 27. アウトレット	8) アウトレット ・ローテーションショットアットレット() ・固定型 ・上下動型(アップ式を含む) ・壁コンセント ・その他()
91. 28. 情報表示設備	16. 情報表示設備 (1) 設備 ・マルチサイン装置 ・出退表示装置 ・時刻表示装置 ・警報等表示装置 ・その他()
92. 29. マルチサイン装置	2) マルチサイン装置 ・機器 ・操作制御部 ・情報表示盤 ・その他()
93. 30. 操作制御部	3) 操作制御部 ・機器 ・イメージスクリーン ・表示 ・情報表示盤 ・発光ダイオード式 ・液晶式 ・その他()
94. 31. 情報表示装置	4) 情報表示装置 1) 機器 ・制御装置 ・出退表示盤 ・時刻表示装置 ・警報等表示装置 2) 出退表示盤 ・発光ダイオード式 ・液晶式 ・その他()
95. 32. 時刻表示装置	3) 時刻表示装置 1) 機器 ・時計 ・子時計 ・電源装置 ・単独時計 2) 時計 ①形式 ・壁掛式 ・自立型 ②時計補正機能 ・FATP ・GPS ・長波受信 ・アラーム装置 ・既設利用 ③回数 ・() ④機能 ・アログ式 ・デジタル式 ・() 3) 子時計 ①方式

17. 映像・音響設備						
(1) 設備	・映像機器	・音響機器	・操作装置			
(2) 映像機器	1) 表示機器	・プロジェクタ（・前面投射式 ・スクリーン（・反射マット形 ・その他（ ・スクリーン巻上装置（・電動式 ・液晶ディスプレイ	・背面投射式） ・反射ビーズ形 ・手動式）	・反射ストライプ形	・透過形)
	2) 付属機器	・録画再生装置（・HDD ・テレビチューナー（・UHF ・BS ・CS ・カメラ ・その他の機器（	・Blu-ray/DVD ・その他（))	・その他（))	・その他（)))
(3) 音響機器	1) 増幅器	①出力（　　）W ②方式 ③出力インピーダンス	・ステレオ ・モノラル ・Lo形 ・Hi形			
	2) 付属機器	・グラフィックコライザ ・録音再生装置（・CD ・ラジオチューナー（・FM ・AM ・有線マイクロホン ・無線マイクロホン（・電波式（・アナログ ・デジタル ・その他の機器（	・オーディオミキサー ・メモリオーディオ ・その他（))	・電源制御器 ・集中配置方式 ・併用方式 ・その他（))	・その他（)))
(4) 操作装置	1) 形状	・卓型 2) 設置	・キャビネットラック型 ・固定式 ・可動式	・その他（))	・その他（)))
18. 拡声設備						
(1) 機器	・増幅器	・付属機器	・操作装置	・スピーカ	・その他（))	
(2) 增幅器		・非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照）				
		・専用	出力（　　）W	出力インピーダンス	・Lo形 ・Hi形	
(3) 付属機器		・オーディオミキサー ・録音再生装置（・CD ・アナウンスレコーダ（・チャイム ・有線マイクロホン ・無線マイクロホン（・電波式（・アナログ ・ラジオチューナー（・FM ・スピーカ切替装置	・リモコンマイク ・メモリオーディオ ・その他（))	・電源制御器 ・独自メッセージ ・プログラムタイマ ・集中配置方式 ・併用方式 ・その他（))	・その他（)))
(4) 操作装置		・卓型	・キャビネットラック型	・壁掛け型	・その他（))	
(5) スピーカ		・非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照）				
		・専用	結線	1W	3W	・(　　)W
			インピーダンス	・Lo形 設置場所	・Hi形 ・屋内 ・屋外	・その他（))
19. 誘導支援設備						
(1) 設備	・音声誘導装置	・インターホン	・トイレ等呼出装置			
(2) 音声誘導装置	1) 検出方式	・磁気式 2) 設置場所	・無線式 ・屋外（防雨形） ・屋内	・画像認識式	・その他（))	
	3) 機能	・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する ・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする ・その他（))				
	4) 機器	・制御装置	・送信機 ・受信機	・その他（))		
	5) 制御装置	・壁掛け型	・卓上形 ・複合盤組込	・その他（))		
	6) 送信機	・壁掛け型	・卓上形 ・埋込形	・その他（))		
	7) 受信機	・スピーカ式	・イヤホン式	・その他（))		
(3) インターホン	1) 用途	・内部受付用 ・その他（))	・外部受付用 ・音声通話 ・映像モニタ	・夜間訪問用 ・複合盤組込	・身体障害者用 ・その他（))	
	2) 機能	・親子式	・相互式	・複合式		
	3) 通話網	・同時通話式	・交互通話式	・その他（))		
	4) 通話方式					
	5) 機器	・親機	・子機	・その他（))		
	6) 親機	①形状 ②送受話器	・壁掛け型 ・電話機形	・卓上形 ・マイク形	・複合盤組込 ・埋込形	・その他（))
	7) 子機	①形状 ②送受話器	・壁掛け型 ・電話機形	・卓上形 ・マイ克形	・埋込形 ・マイク形	・その他（))
(4) トイレ等呼出装置	1) 用途	・トイレ呼出 ・その他（))	・受付呼出 ・音声	・非常通報 ・ブザー	・非常通報 ・ベル	・その他（))
	2) 機器	・親機	・呼出スイッチ	・警報装置	・その他（))	
	3) 親機	・壁掛け型	・卓上型	・複合盤組込	・その他（))	
	4) 呼出スイッチ	・送受話器	・押ボタン式	・引紐式	・その他（))	
	5) 警報装置	・光	・音声	・ブザー	・ベル	・その他（))
20. テレビ共同受信設備						
(1) 受信放送		・UHF ・BS ・CS ・FM ・CATV	・その他（))			
(2) 機器	・増幅器	・混合器	・分波器	・分岐器	・分配器	・機器収容箱 ・アンテナ
	・その他（))					
(3) アンテナ	1) 放送	・UHF ・BS ・CS ・FM	・その他（))			
	2) マスト	・地上波用（・壁面取付 ・衛星用（・壁面取付 ・その他（	・自立 ・既設利用 ・自立 ・既設利用 ・自立 ・既設利用 ・その他（)
	3) 自立用基礎	・本工事	・別途工事	・既設利用	・その他（))	
21. テレビ電波障害防除設備						
(1) 対象戸数		(　　)戸				
(2) 機器	・増幅器	・混合器	・分波器	・分岐器	・分配器	・機器収容箱 ・アンテナ
	・ヘッドエンド装置	・その他（))				
(3) アンテナ	1) 放送	・UHF ・BS ・CS ・FM	・その他（))			
	2) マスト	・地上波用（・壁面取付 ・衛星用（・壁面取付 ・その他（	・自立 ・既設利用 ・自立 ・既設利用 ・自立 ・既設利用 ・その他（)
	3) 自立用基礎	・本工事	・別途工事	・既設利用	・その他（))	
22. 監視カメラ設備						
(1) 機器	・カメラ	・モニタ装置	・録画装置	・ハウジング	・旋回装置	
	・その他（))					
(2) 伝送方式		・アナログ伝送方式	・ネットワーク伝送方式	・その他（))		
(3) カメラ	1) 色方式	・白黒 ・カラー				
	2) 駆動方式	・固定式 ・遠隔可動式				
	3) 撮影条件	・昼間 ・薄明時 ・夜間				
	4) 設置場所	・屋内 ・屋外	・その他（))			
(4) モニタ装置	1) 色方式	・白黒 ・カラー				
	2) モニタ	・液晶 ・P C	・その他（))			
	3) 設置	・自立型 ・卓上型	・壁掛け型	・その他（))		
(5) 録画装置	1) 記憶媒体	デジタル記憶媒体とする。				
	2) 記憶容量	(　　)				
	3) 時刻補正機能	・FM放送受信 ・長波標準電波受信（・アンテナ設置 ・その他（))	・アンテナ設置 ・既設利用 ・その他（))			

中央監視制御設備	・動力設備	・受変電設備	・発電設備	・火災報知設備	
中央監視制御設備	・その他())
(1)監視制御対象設備	・無し	・盤改造	・配線接続	・その他())
(2)既設との取り合い	・監視操作装置	・信号処理装置	・記録装置	・伝送装置	・端末装置
(3)機器	・その他())
(4)機能	仕様詳細は別図による。				
(5)監視操作装置	1) 形式	・壁掛型	・自立型	・卓型	・その他()
	2) 表示装置	・液晶ディスプレイ	・その他())
	3) 操作装置	・タッチパネル	・キーボード	・マウス	・その他()
(6)信号処理装置	1) 形式	・壁掛型	・自立型	・卓型	・ラック型
	2) 設置	・単独	・監視操作装置に組込	・その他()	・卓上型
(7)記録装置	1) 形式	・壁掛型	・自立型	・卓型	・ラック型
	2) 設置	・単独	・監視操作装置に組込	・その他()	・卓上型
	3) 装置	・プリンタ	・記録メディア	()	・その他()
【医療関係設備】					
非接地電源用分電盤	・絶縁変圧器	・絶縁監視装置	・電流監視装置	・医用接地センタボディー	
(1)機器	・その他())
(2)仕様詳細	仕様詳細は別図による。				
ナースコール設備					
(1)形式	・基本形ナースコール装置	・携帯形ナースコール装置	・情報表示形ナースコール装置	・病床ユニット	
(2)仕様詳細	仕様詳細は別図による。				
構内配電線路】					
構内配電線路					
(1)配線方式	・地中線式(・直埋	・管路)	・架空線式(・直接	・ちょう架線添架)	
	・建築物等添架式(・露出配管	・隠蔽配管)	・その他())
	・その他())
(2)建柱	1) 施工	・本工事	・既設柱利用	・その他()	
	2) 電柱	・コンクリート柱	・鋼管柱	・バンザマスト	
	・その他())
	3) 支持材	・根かせ	・根はじき	・根巻き	・底板
	4) 装柱材料	・有(電力仕様)	・無	・支線(保護ガード	・有
	5) 銘板	・有	・無	・無)	
(3)装柱機器 (高圧用)	1) 機器	・開閉器	・避雷器	・カットアウト	・碍子
	・その他())
(4)装柱機器 (低圧用)	2) 耐環境性	・一般用	・耐塩用		
	3) 開閉器	仕様は5. 受変電設備	(6)負荷開閉器	による。	
(5)ハンドホール、 マンホール	1) 機器	・開閉器	・開閉器箱	・避雷器	・カットアウト
	・その他())
(6)鉄蓋	2) 耐環境性	・一般用	・耐塩用		
(7)地中ケーブル保護 材料	1) 形式	・ブロック式	・現場打ち		
	2) 施工	・本工事(・建築工事	・電気設備工事)	・別途工事	・既設利用
	3) ケーブル支持金物の取付	・2箇所	・4箇所	・()箇所	
(8)地中通信線路】	4) 埋設標識シート	・2倍長	・その他()		
構内通信線路	5) 埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。				
(1)用途	1) 種類	・F E P	・G L T (P Eライニング管)	・V E	・H I V E
		・厚鋼電線管	・その他())
(2)配線方式	2) 標示杭埋設	・コンクリート製	・鉄製(アスファルト部分)		
	3) 埋設標識シート	・2倍長	・その他()		
	4) 埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。				
(3)建柱	1) 施工	・本工事	・既設柱利用	・構内配電線柱に添架	・その他()
	2) 電柱	・コンクリート柱	・鋼管柱	・バンザマスト	
	・その他())
(4)ハンドホール、 マンホール	3) 支持材	・根かせ	・根はじき	・根巻き	・底板
	4) 装柱材料	・有	・無	・支線(保護ガード	・有
	5) 銘板	・有	・無	・無)	
(5)鉄蓋	1) 形式	・ブロック式	・現場打ち		
	2) 施工	・本工事(・建築工事	・電気設備工事)	・別途工事	・既設利用
	3) ケーブル支持金物の取付	・2箇所	・4箇所	・()箇所	
(6)地中ケーブル保護 材料	1) 種類	・F E P	・G L T (P Eライニング管)	・V E	・H I V E
		・厚鋼電線管	・その他())
	2) 標示杭埋設	・コンクリート製	・鉄製(アスファルト部分)		
	3) 埋設標識シート	・2倍長	・その他()		
	4) 埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。				
その他】					
消火器	1) 設置	・本工事(・建築工事	・電気設備工事	・機械設備工事)	・別途工事
	2) 消火器	種別()	、数量()	本	
	3) 消火器収納箱	材質()	、数量()	面	

機器標準取付高さ 標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。（○印はバリアフリー対応）				
	名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考
電力	接地端子盤	床上～下端		
	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000	
	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,000	
電灯	分電盤	床上～中心	1,500	上端1,900mm
	スイッチ	床上～中心	1,300	○1,000mm
	コンセント（一般）	床上～中心	300	○400mm
	コンセント（和室）	床上～中心	200	
	コンセント（台上）	床上～中心	150	
	コンセント（WP）	床上～中心	1,000	
	コンセント（地下）	床上～中心	1,000	
	コンセント（土間）	床上～中心	500	
	プラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300	
	プラケット（鏡上）	鏡上端～中心	150	
動力	壁掛型制御盤	床上～中心	1,500	上端1,900mm
	手元開閉器	床上～中心	1,500	
	操作スイッチ	床上～中心	1,300	
電話	端子盤	床上～下端	300	
	保安器盤	床上～中心	2,000	
	壁位置ボックス	床上～中心	300	
	壁位置ボックス（和室）	床上～中心	200	
時計・拡声	壁掛型親時計	床上～中心	1,500	上端1,900mm
	子時計	床上～中心	2,300	
	壁掛型スピーカ	床上～中心	2,300	2,500mm
	アッテネータ	床上～中心	1,300	
表示	表示器	床上～中心	2,300	
	壁付発信器	床上～中心	1,300	
	ベル・ブザー・チャイム	床上～中心	2,300	
インターホン	壁付インターホン	床上～中心	1,300	
	壁位置ボックス	床上～中心	300	
	壁位置ボックス（和室）	床上～中心	200	
	子機（身障者用）	床上～中心	1,100	
	呼出しボタン（身障者用）	床上～中心	800～950	便座先端から後方へ100～200mm 2個目（高700mm、便座先端から前方400mm）
	表示灯（身障者用）	床上～中心	1,800	
テレビ	機器収容箱	床上～中心	2,000	
	直列ユニット	床上～中心	300	
	直列ユニット（和室）	床上～中心	200	
火災報知	受信機・副受信機	床上～中心	1,500	
	発信器	床上～中心	1,300	
	表示灯	床上～中心	1,800	
	ベル	床上～中心	2,300	

参考資料：高齢者が居住する住宅の設計に係る指針（最終改正 平成21年国交省告示第906号）
ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等（平成25年4月 三重県）



配置図 S:1/500

備 考	NISSHIN SEKKEI		Job Title: 津市立修成小学校普通教室及び特別教室等空調設備設置工事 Drawing Title: 配置図 設計担当者 一級建築士: No.215909 國分恵之 二級建築士: No.10498 多湖弘樹	DATE
				S C A L E
				A1:1/50 A3:1/100
				E—O 4 原図: A2

